

令和 5 年度
豊見城市 市民意識調査
報告書

令和 6 年 3 月

 豊見城市

目次

I. 調査概要.....	1
II. 調査結果.....	2
1. あなた自身のことについて	2
問1 あなたの性別を教えてください。	
問2 あなたの年齢を教えてください。	
問3 あなたがお住まいになっている地区(住所地)はどちらですか。	
問4 あなたの本市における居住年数はどの程度ですか。	
2. 豊見城市全体のことについて	6
問5 あなたは、市内に今後も住み続けたいと思いますか。	
問5-2 前問で「1. ずっと住み続けたい」、「2. 今のところ、市外に移る予定はない」と答えた方に伺います。なぜ市内に住みたいのですか。	
問5-3 問5で「3. できれば今すぐにでも市外へ移りたい」、「4. いつかは市外へ移りたい」と答えた方に伺います。なぜ市外へ移りたいのですか。	
問6 あなたは、本市が子育てしやすい「まち」だと思いますか。	
問6-2 前問で「2. そう思わない」と答えた方に伺います。どのような点でそう思いますか。	
問7 あなたは、本市の観光が、もっと盛んになると良いと思いますか。	
3. 地域活動について.....	15
問8 あなたは、自分が困っている時に、自治会や公的相談所、民生委員等、相談できる機関や人をどの程度知っていますか。	
問9 あなたは、地域活動(自治会・通里会・PT(C)Aの活動)にどの程度参加していますか。	
問10 あなたは、現在、以下のようなボランティア活動を行っていますか。	
4. 健康、スポーツについて	18
問11 あなたは、健康のために日常的に取り組んでいることはありますか。	
問12 あなたは、30分以上の運動をどの程度の頻度で行っていますか。	
5. 防災、消防・救急、公共交通について	21
問13 あなたが実施している防災対策は何ですか。	
問14 あなたは、過去5年以内に応急手当(心肺蘇生法及びAEDの取扱い)の講習を受けたことがありますか。	
問15 あなたは、現在、公共交通機関をどの程度利用されていますか。	
問15-2 前問で路線バスを「5. 利用していない」と答えた方に伺います。路線バスを利用しない理由は何ですか。	

6. 生活環境、自然環境について 27

- 問 16 あなたは、日常生活の中で、騒音や悪臭等の生活環境について現在困っていることがありますか。
- 問 17 あなたは、以下のような環境に優しいエコ活動として、実践していることはありますか。
- 問 17-2 前問で「6. ごみの分別・発生抑制・減量」と答えた方に伺います。ごみを減らすために日頃の暮らしの中で、どのような取組をしていますか。

7. 男女平等、平和について 31

- 問 18 あなたは、家庭・職場・地域・社会全般のどのようなことに関して男女の不平等を感じますか。
- 問 19 あなたが知っている平和に関連する日はありますか。

8. 文化財、生涯学習について 35

- 問 20 あなたは、市の指定文化財、文化財、伝統行事・芸能を知っていますか。
- 問 21 あなたは、この1年間で自発的に学習(生涯学習)したことがありますか。
- 問 21-2 前問で「1. ある」と答えた方に伺います。どのような場所・手段で学習(生涯学習)していますか。

9. 市政について 38

- 問 22 あなたは、市の情報をどのような方法で得ていますか。
- 問 22-2 前問で「9. 市の情報を得ていない」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。
- 問 23 あなたは、市民が市政に対して意見や要望を言える機会が設けられていると思いますか。
- 問 24 あなたは、この1年間で市役所職員の窓口や電話での対応(服装、挨拶、応対等)は、どのように感じていますか。
- 問 24-2 前問で「3. どちらかと言えば悪い」、「4. 悪い」と答えた方に伺います。どのような点で悪い印象を感じましたか。

10. まちづくりに対する満足度、重要度について 43

- 問 25 次の(1)～(5)の分野ごとに、まちづくりに対する現在の取組状況に関する満足度と今後取り組むべき重要度についてご意見をお聞かせください。



I. 調査概要

1. 調査目的

令和3年度から開始している「第5次豊見城市総合計画」に関連する各施策の目標指標の現状値及び各施策に対する市民ニーズについて把握・分析し、今後のまちづくりへ反映させるため調査を実施した。

2. 調査の内容

- (1) あなた自身のことについて
- (2) 豊見城市全体のことについて
- (3) 地域活動について
- (4) 健康、スポーツについて
- (5) 防災、消防・救急、公共交通について
- (6) 生活環境、自然環境について
- (7) 男女平等、平和について
- (8) 文化財、生涯学習について
- (9) 市政について
- (10) まちづくりに対する満足度、重要度について

3. 調査方法

- (1) 調査期間：令和6年1月16日（火）～ 2月26日（月）
- (2) 調査対象：令和5年11月末日時点における18歳以上の市民
- (3) 対象者数：2,000名
- (4) 抽出方法：住民基本台帳から調査対象を無作為抽出
- (5) 調査方法：調査票の配布 … 郵送
調査票の回収 … 郵送、窓口提出またはWeb回答

4. 回収結果

- (1) 回答数：601件（郵送 419件、窓口 4件、Web 178件）
- (2) 回答率：30.05%

5. 留意点

調査結果の数値は、原則として百分率（％）で表記し、小数点以下第二位を四捨五入している。そのため、合計値は必ずしも100%になるとは限らない。また、複数回答については回答項目ごとに算定しているため、合計数値は100%にならない場合がある。

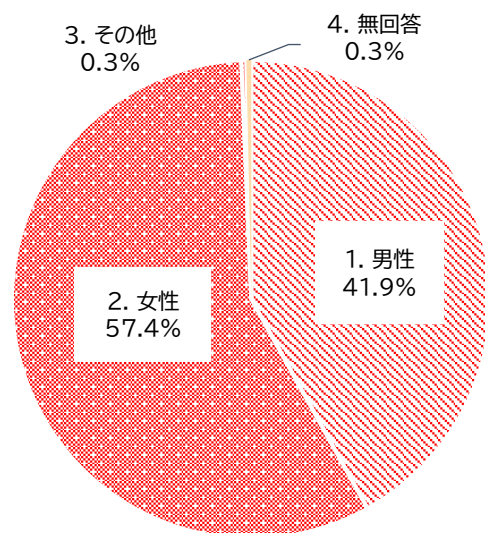
II. 調査結果

1. あなた自身のことについて

問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

● 回答者の性別は、「男性」が41.9%、「女性」が57.4%、「その他」が0.3%となっている。

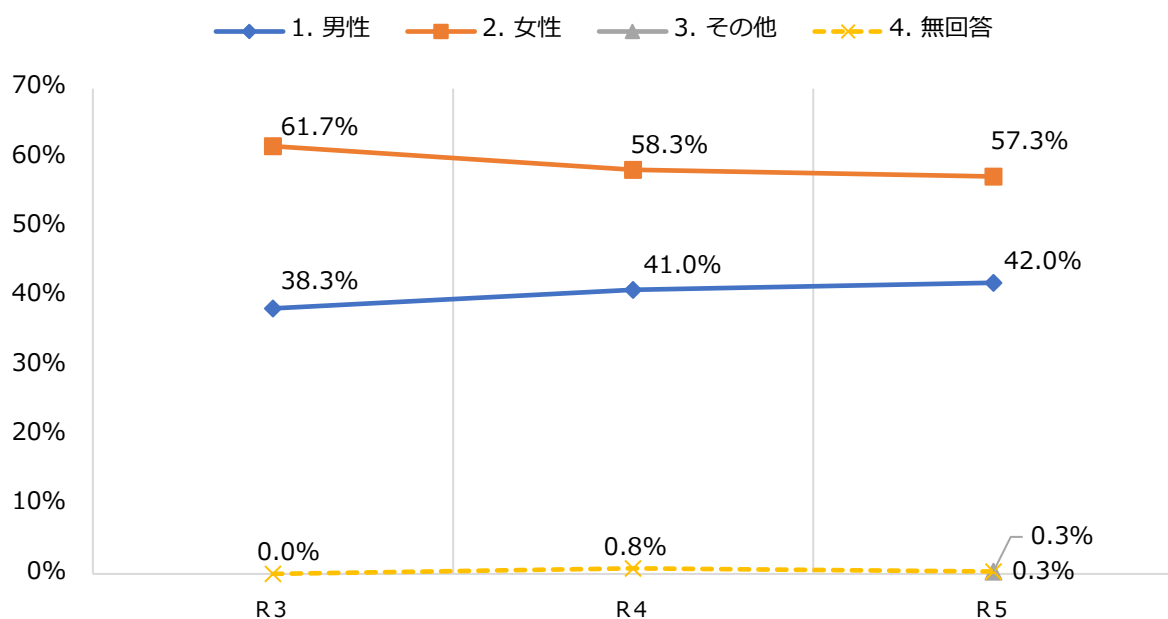
項目	回答数	構成比
1. 男性	252	41.9%
2. 女性	345	57.4%
3. その他	2	0.3%
4. 無回答	2	0.3%
計	601	100%



※令和5年度調査より、回答項目に「その他」を追加している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

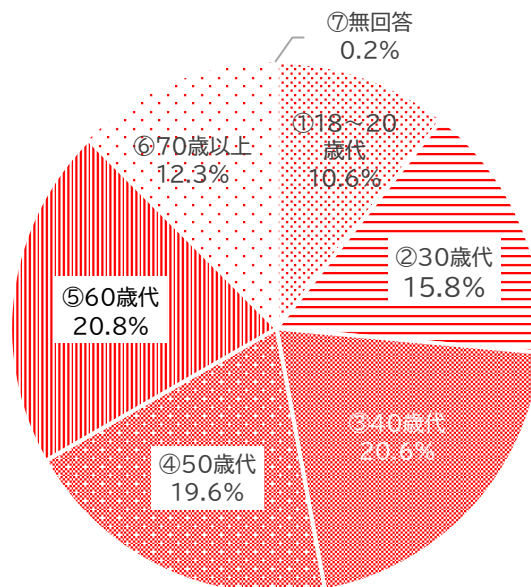
● 令和4年度と比較すると、「男性」が1.0ポイント増加し、「女性」が1.0ポイント減少している。



問2 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ)

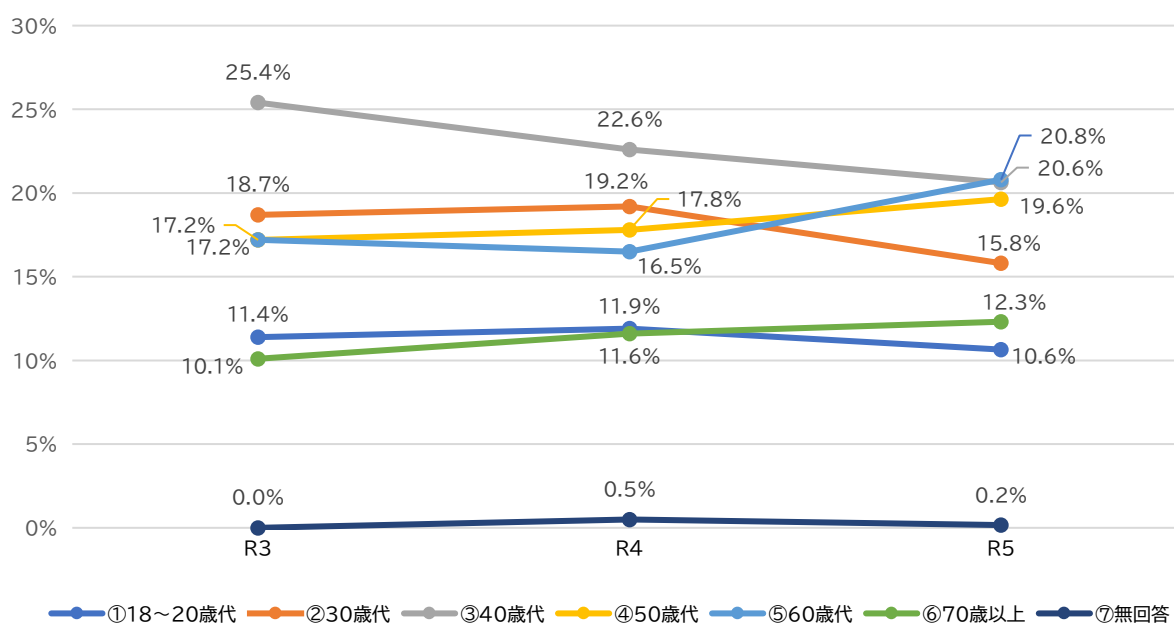
- 回答者の年齢は、「60歳代」が20.8%と最も多く、次いで「40歳代」が20.6%、「50歳代」が19.6%の順となっている。

項目	回答数	構成比
①18～20歳代	64	10.6%
②30歳代	95	15.8%
③40歳代	124	20.6%
④50歳代	118	19.6%
⑤60歳代	125	20.8%
⑥70歳以上	74	12.3%
⑦無回答	1	0.2%
計	601	100%



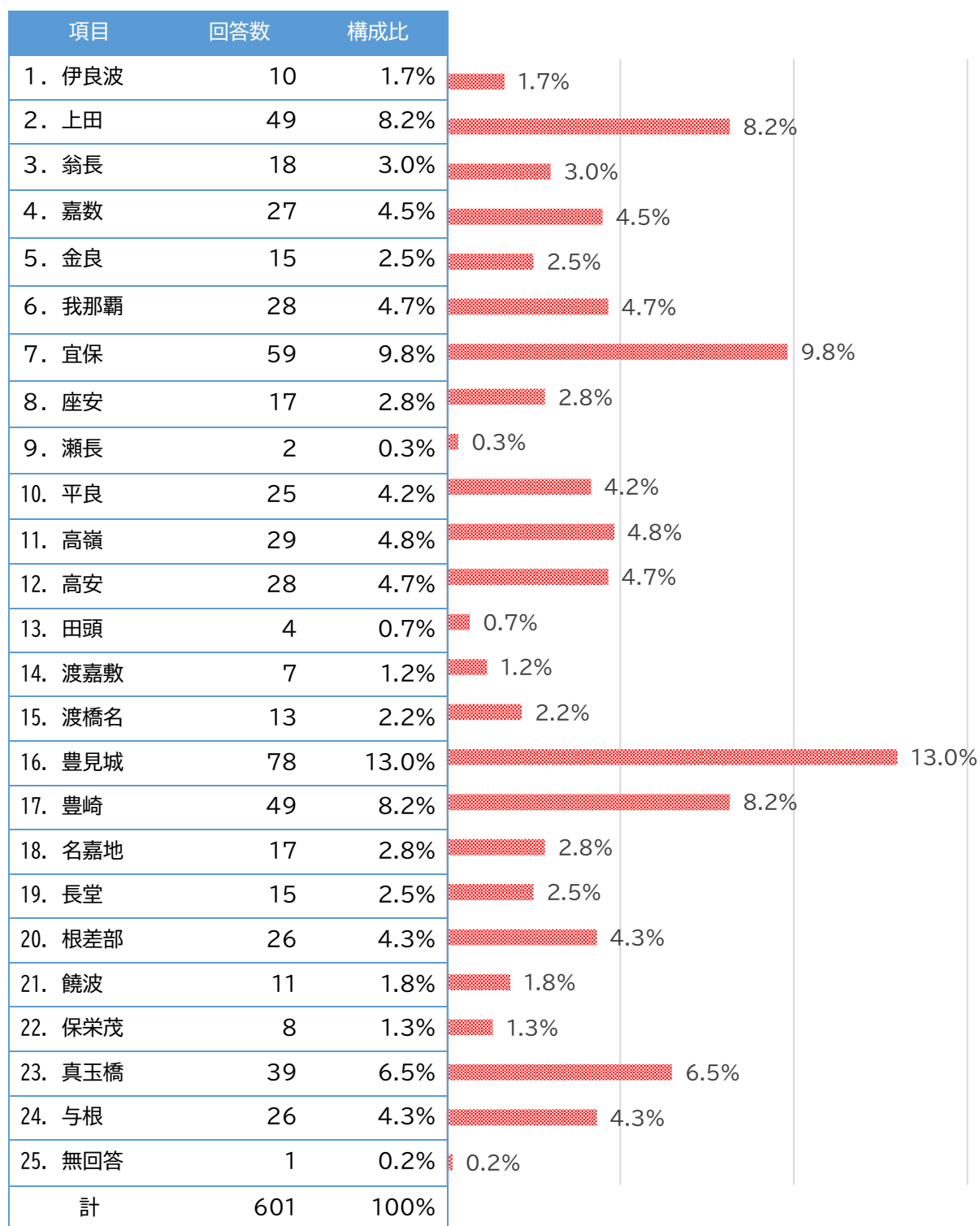
《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 令和4年度と比較すると、「60歳以上」が4.3ポイント、「50歳代」が1.8ポイント増加しており、「30歳代」が3.4ポイント減少している。
- 「50歳代」及び「70歳以上」については、経年で増加している。



問3 あなたがお住まいになっている地区(住所地)はどちらですか。(〇は1つ)

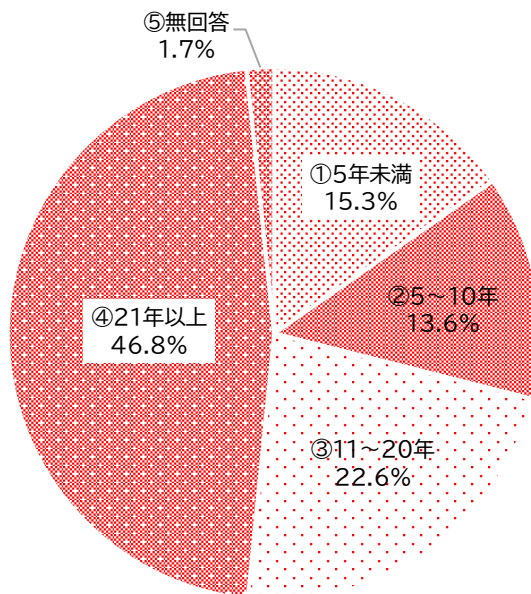
- 地区別では、「豊見城」が13.0%と最も高く、次いで「宜保」が9.8%、「上田」及び「豊崎」が8.2%の順となっている。



問4 あなたの本市における居住年数はどの程度ですか。(〇は1つ)

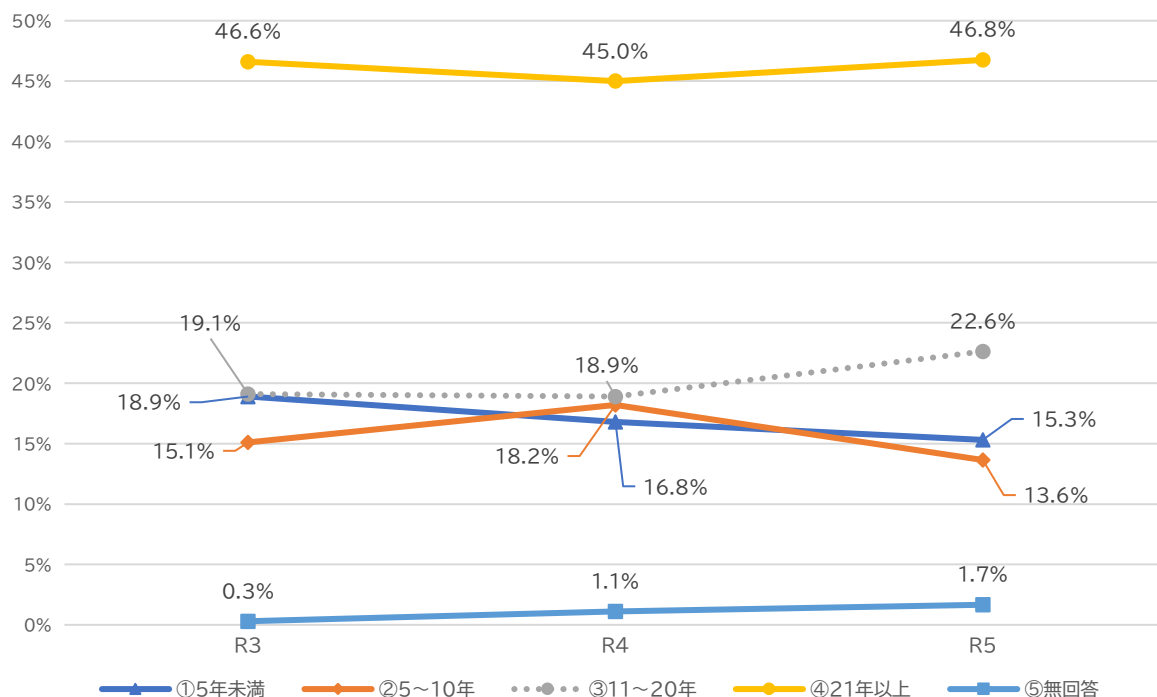
- 回答者の本市での居住年数は、「21年以上」が46.8%と最も高く、次いで「11～20年」が22.6%、「5年未満」が15.3%の順となっている。

項目	回答数	構成比
①5年未満	92	15.3%
②5～10年	82	13.6%
③11～20年	136	22.6%
④21年以上	281	46.8%
⑤無回答	10	1.7%
計	601	100%



《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 令和4年度と比較して、「11～20年」が3.7ポイント増加しているが、10年以下が減少傾向となっている。

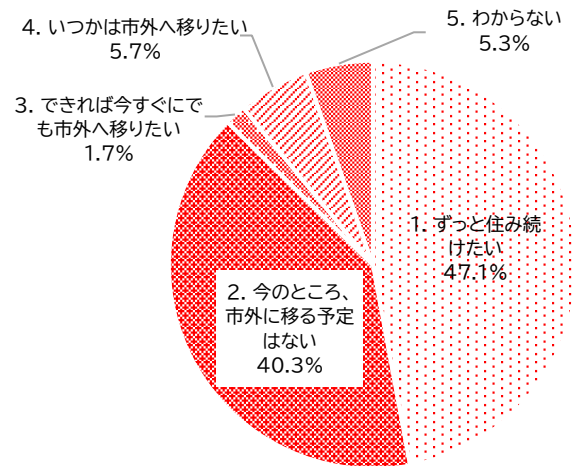


2. 豊見城市全体のことについて

問5 あなたは、市内に今後も住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

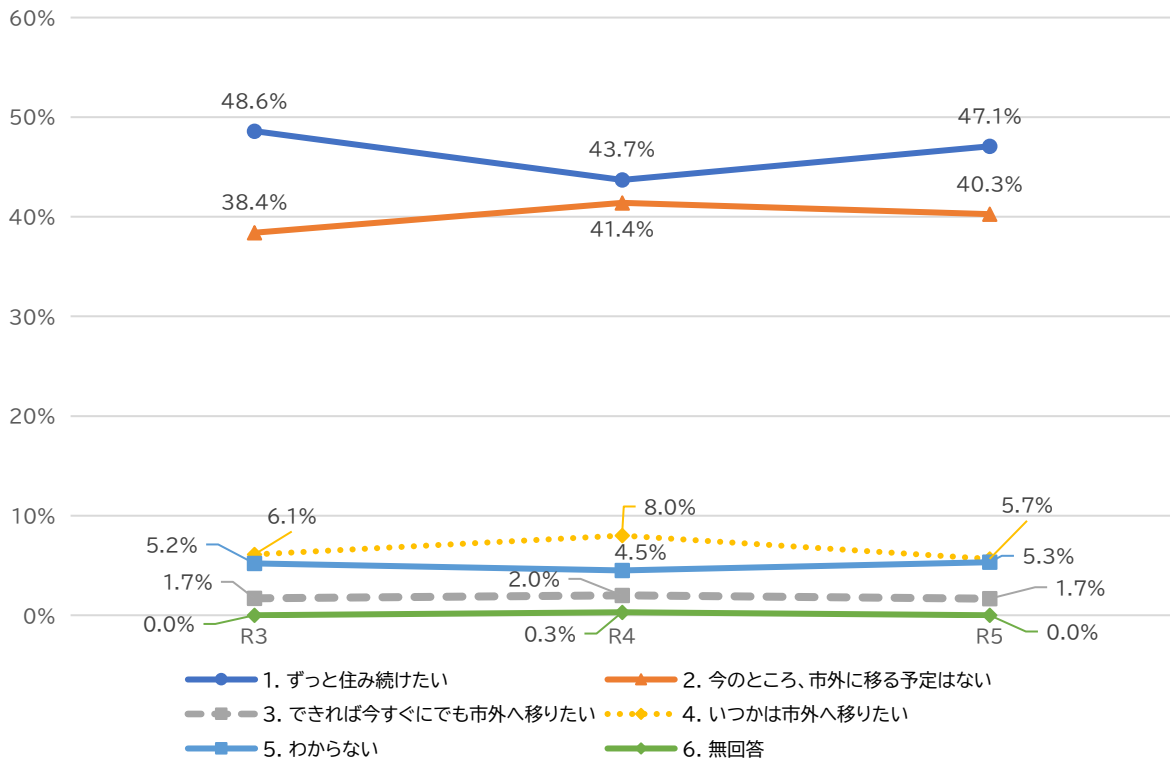
● 「ずっと住み続けたい」が47.1%、次いで「今のところ、市外に移る予定はない」が40.3%となっている。

項目	回答数	構成比
1. ずっと住み続けたい	283	47.1%
2. 今のところ、市外に移る予定はない	242	40.3%
3. できれば今すぐにも市外へ移りたい	10	1.7%
4. いつかは市外へ移りたい	34	5.7%
5. わからない	32	5.3%
6. 無回答	0	0.0%
計	601	100%



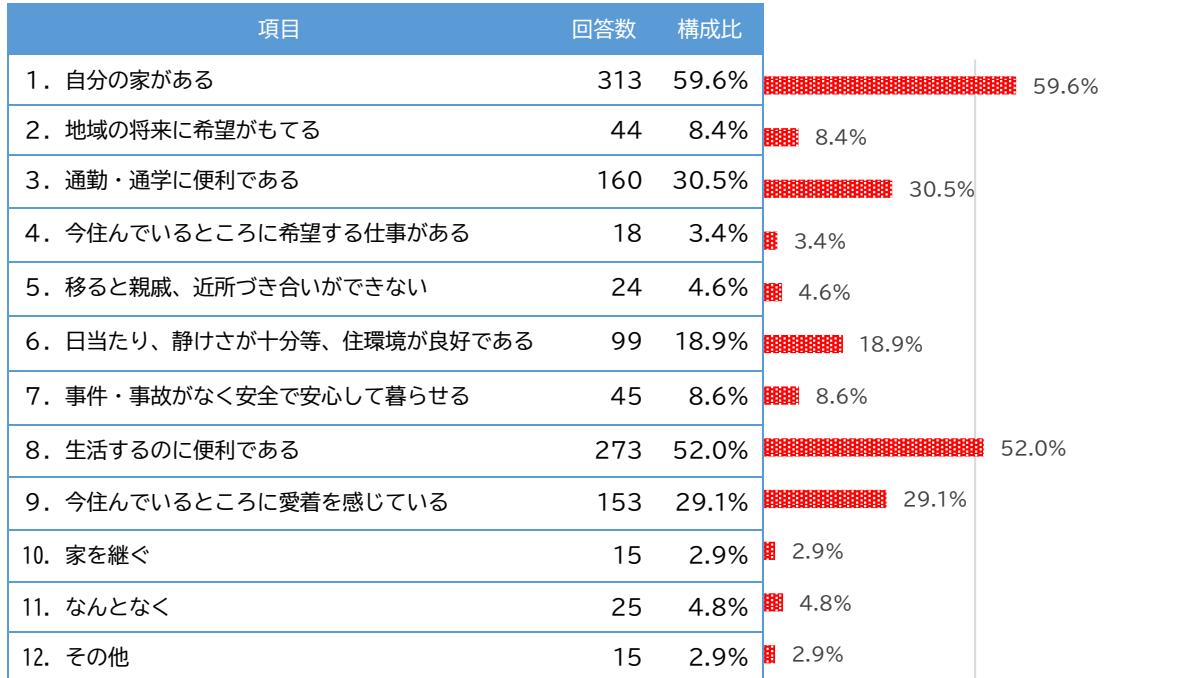
《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

● 令和4年度と比較すると、「ずっと住み続けたい」が3.4ポイント増加しており、「今のところ、市外に移る予定はない」を含めた継続的な居住を希望する回答が引き続き8割以上を占めている。



問 5-2 前問で「1. ずっと住み続けたい」、「2. 今のところ、市外に移る予定はない」と答えた方に伺います。
なぜ市内に住みたいのですか。(〇は 3 つ以内)

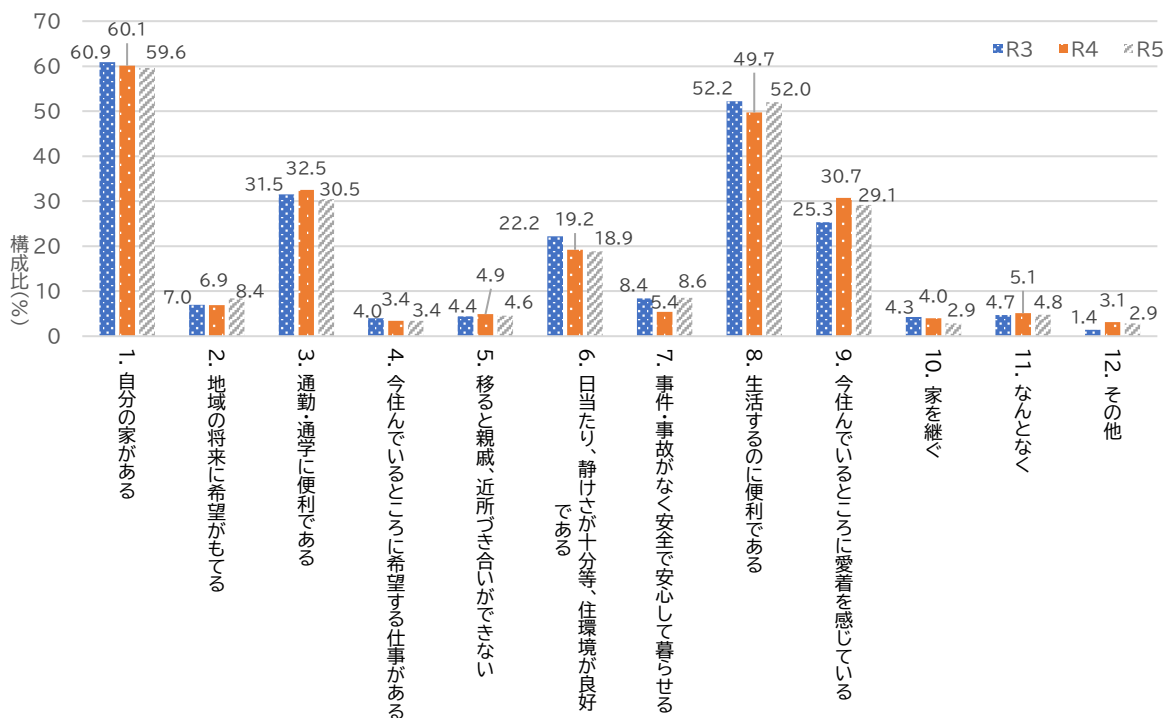
- 継続的な居住を希望すると答えた方のうち、その理由として、「自分の家がある」が 59.6%と最も高く、次いで「生活するのに便利である」が 52.0%、「通勤・通学に便利である」が 30.5%の順となっている。



※回答者数(525人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 令和4年度と比較すると、「事件・事故がなく安全で安心して暮らせる」が 3.2 ポイント増加し、「通勤・通学に便利である」が 2 ポイント減少している。
- 直近3年間において、「日当たり、静けさが十分等、住環境が良好である」が減少している。



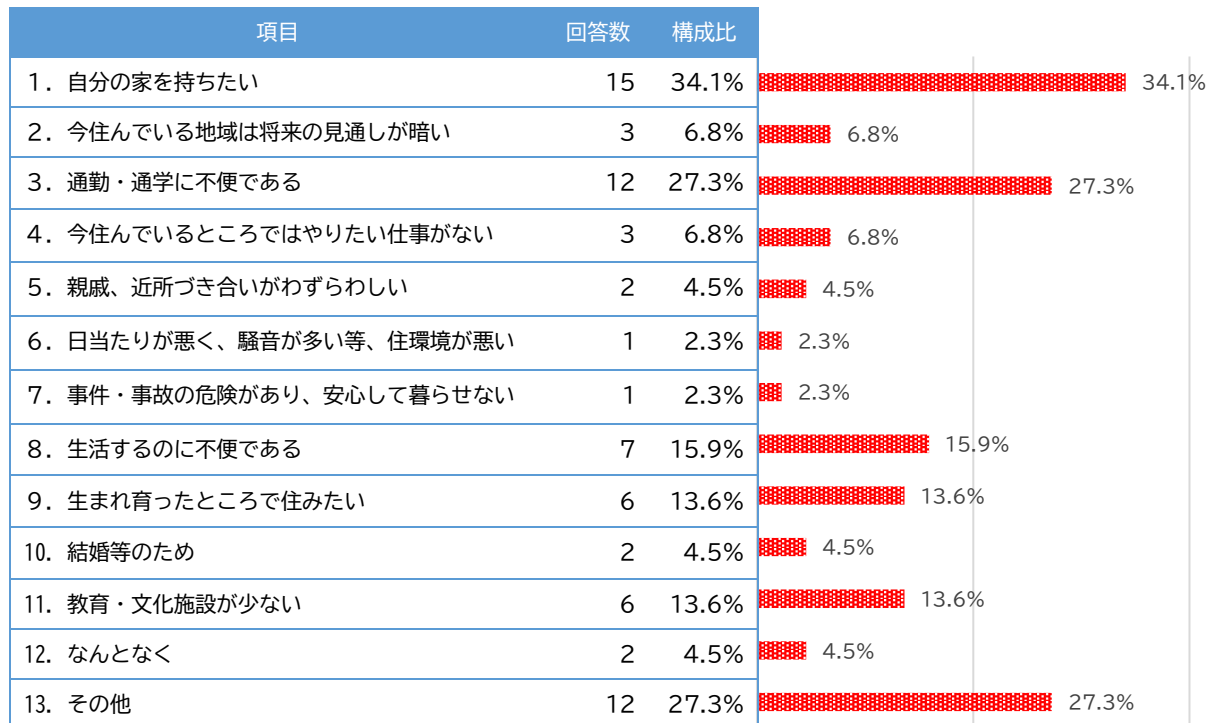
«「12.その他」の主な内容»

- ・家を建てたい。
- ・家を建てる予定があるため。
- ・公園が多いなど子供に良い環境。
- ・今以上に観光とかではなく地域にあるもので文化だっ तरीには希望が持てる。
- ・子どもが学校に通っているから。
- ・子どもの小学校を移りたくない。
- ・子育て支援課の方々にお世話になっている。
- ・子供の保育園、デイサービスを変えたくないため。
- ・親せきが多く住んでいる。
- ・生まれも育ちもとみぐすく。
- ・生活保護受給者なので家賃の関係で。
- ・静かな所。
- ・那覇に近く、近くに病院がある。
- ・両親が住んでいるから。等



問5-3 問5で「3. できれば今すぐにでも市外へ移りたい」、「4. いつかは市外へ移りたい」と答えた方に伺います。なぜ市外へ移りたいのですか。(〇は3つ以内)

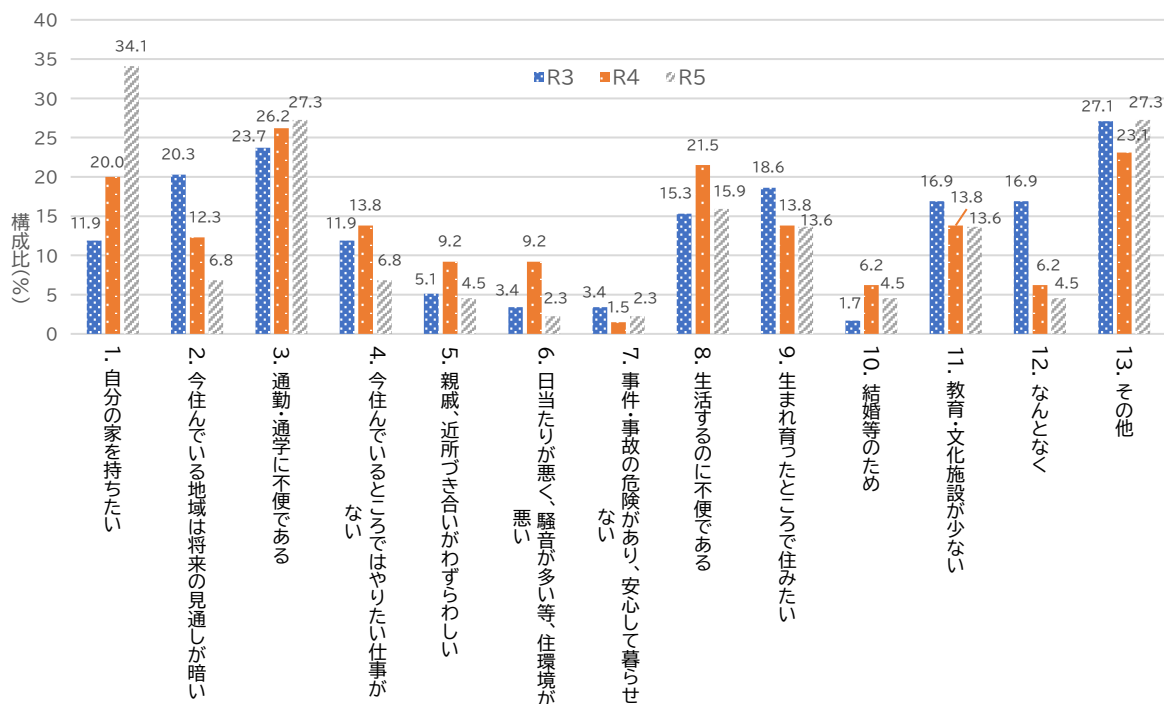
- 継続的な居住を希望しないと答えた方のうち、その理由として、「自分の家を持ちたい」が34.1%と最も高く、次いで、「通勤・通学に不便である」が27.3%となっている。



※回答者数(44人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 令和4年度と比較すると、「自分の家を持ちたい」が14.1ポイント増加している。
- 「通勤・通学に不便である」が年々増加している。(R3:23.7%→R4:26.2%→R5:27.3%)



«「13.その他」の主な内容»

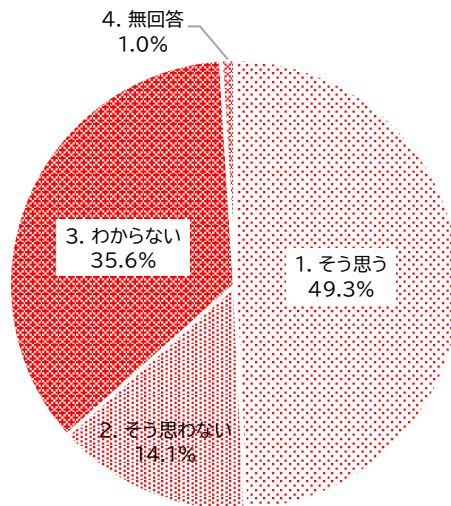
- ・ 芸能活動のために上京予定。
- ・ 県外転職のため。
- ・ 地盤が悪く自然災害が怖い。
- ・ 田舎が好きなのでやんばるで将来は生活したい。
- ・ 道路整備されたがカーブミラーが移動され、視界が悪くなった。毎日、事故の心配でストレスを感じている。また、多数の場所で渋滞が(朝・夕)多い。
- ・ 保育園に入れない。
- ・ 豊見城が嫌だから。
- ・ 豊見城市の政策にあまり賛同できず、市民税は別の市に納めたいと思う。
- ・ 豊見城市と那覇市内の境目に住んでおり、那覇市内で働いている。通勤や帰宅の際ラッシュにまきこまれる。6時代では、15分でいけるが7時過ぎのバスだと、50分以上かかる。雨の日も混雑でバスのダイヤが乱れて、市域を超える通勤がつらいため。また、バスが最終のバスが終わる時間が21時台のため、飲み会や残業の際はタクシーでかえり出費が多くなってしまう。
- ・ 那覇市の方がごみの分別が緩い。豊見城市は、分別が厳しく、回収されずマンションの共用のゴミ捨て場にゴミが滞留しやすい。那覇市同様、外国人も多く観光で来たり住んでいる地域のため、那覇市と同じくらいのごみの分別の厳しさとしてほしい。
- ・ 教育水準が低い印象がある。なぜ勉強しなくちゃいけないかと地域の子どもによく聞かれる。保育園では、わんぱくな子どもが内地の保育園より多い。



問6 あなたは、本市が子育てしやすい「まち」だと思いますか。(〇は1つ)

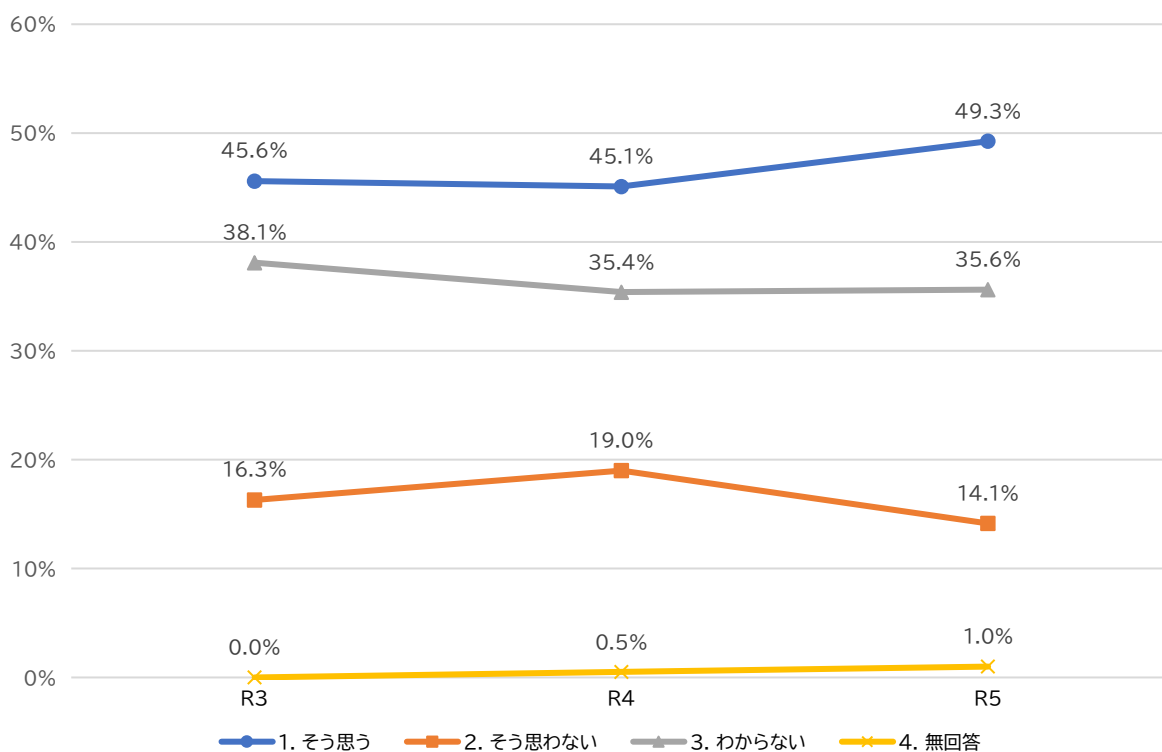
- 子育てのしやすさについて、「そう思う」が49.3%と最も高く、次いで「わからない」が35.6%、「そう思わない」が14.1%となっている。

項目	回答数	構成比
1. そう思う	296	49.3%
2. そう思わない	85	14.1%
3. わからない	214	35.6%
4. 無回答	6	1.0%
計	601	100%



《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

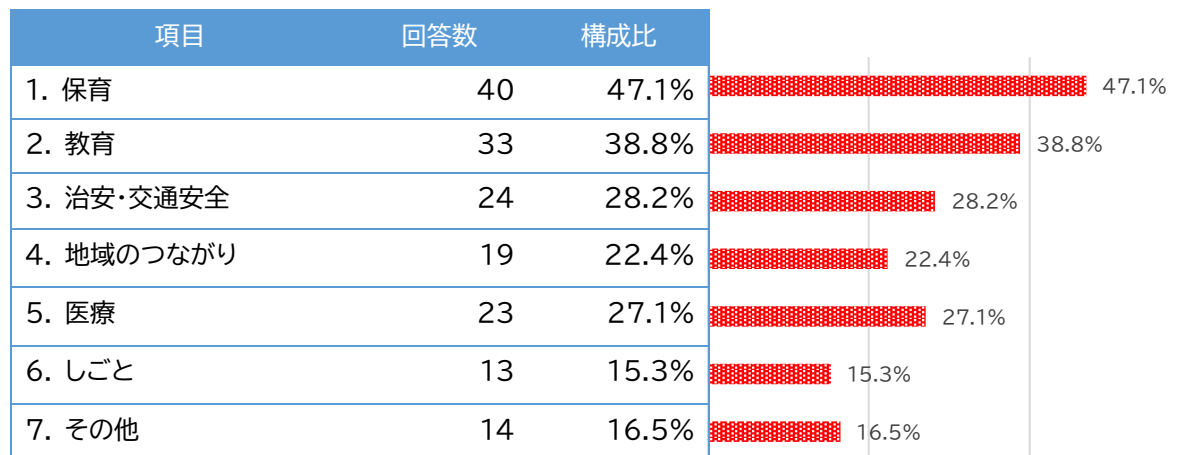
- 令和4年度と比較すると、「そう思う」が4.2%増加している。



問 6-2 前問で「2. そう思わない」と答えた方に伺います。どのような点でそう思いますか。

(あてはまるもの全てに○)

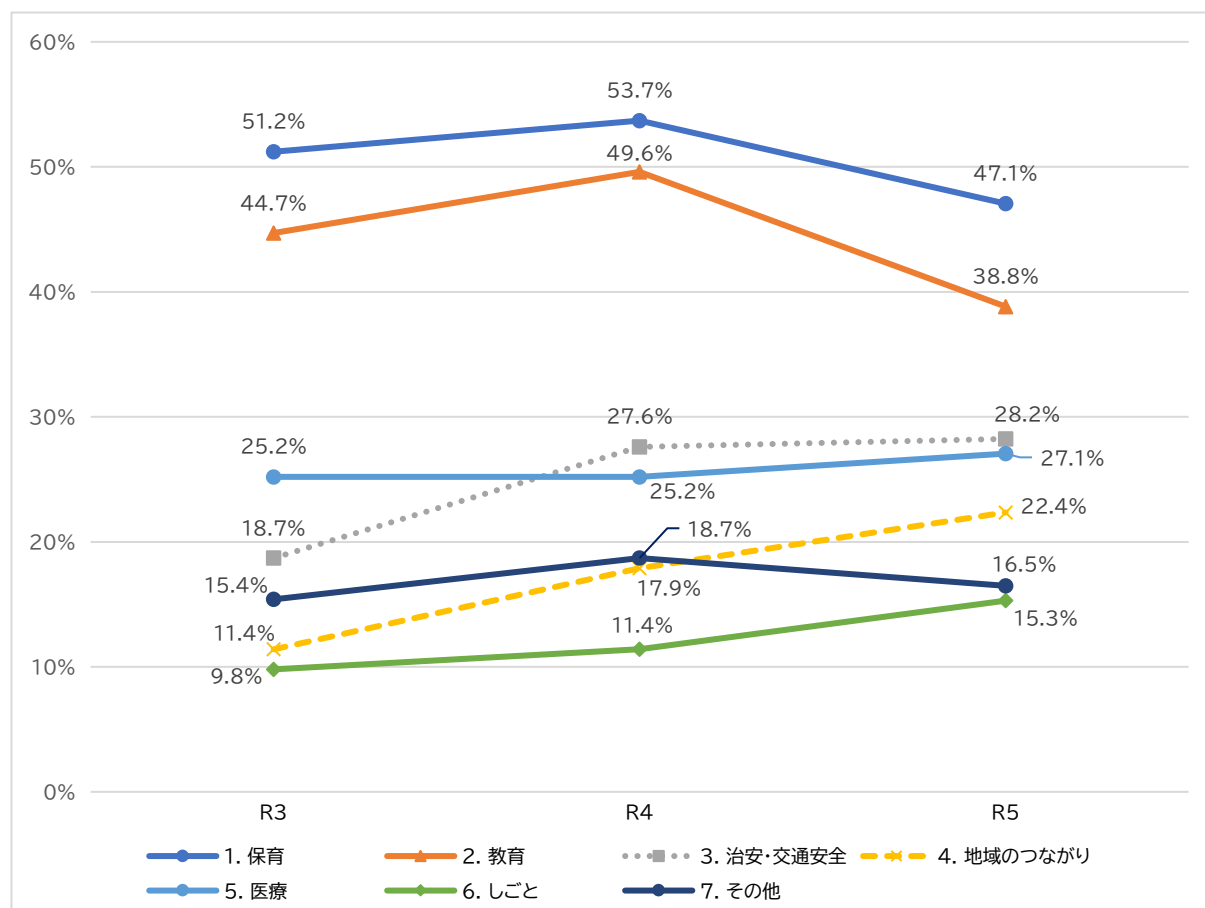
- 子育てしやすいと思わないと答えた方のうち、その理由として、「保育」が 47.1%と最も高く、次いで「教育」が 38.8%、「治安・交通安全」が 28.2%の順となっている。



※回答者数 (85 人) を母数として構成比を算出したため、合計が 100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 令和4年度と比較すると、「地域のつながり」が 4.5 ポイント増加しており、年々増加している。(R3:11.4% →R4:17.9%→R5:22.4%)



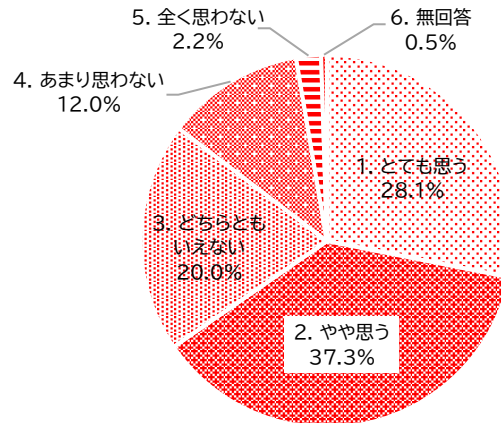
«「7. その他」の主な内容»

- ・ この地域には公園はなく、近くには子どもが遊べる場所が学校体育館しかない。公民館は住民料金を請求します。街路灯の電気代などに充てられるという。
- ・ コンビニはあるが、車に頼らないと近くに何も無い。小学校の近くの横断歩道は信号がなく、事故も多く危険。
- ・ もっと身近に親子で遊べる場がほしい。公民館などの行事参加も近くのアパートの人達からの苦情も多くなる。楽しめなくなり残念に思う。
- ・ 伊良波小中周辺の横断歩道が無い。
- ・ 学校が遠い、那覇市の学校が近いので通えるようにしてほしい。市町村レベルでなく近くの学校に通えるようにしてほしい。
- ・ 高学年、中学生の遊ぶところがない。
- ・ 子育てが終わった。
- ・ 子連れで利用できる施設の少なさ。(例:公園や室内あそび場等)
- ・ 児童館が少ない。
- ・ 室内での遊び場が少ない。(土・日など)
- ・ 住宅地の環境、交通の便。
- ・ 深夜徘徊が多くみられる。特にここ1年。
- ・ 特に他所と比べて、しやすいと感じた事がない。
- ・ 歩く前の子供連れて行く場所が少ないので家に籠りがちになる。

問7 あなたは、本市の観光が、もっと盛んになると良いと思いますか。(〇は1つ)

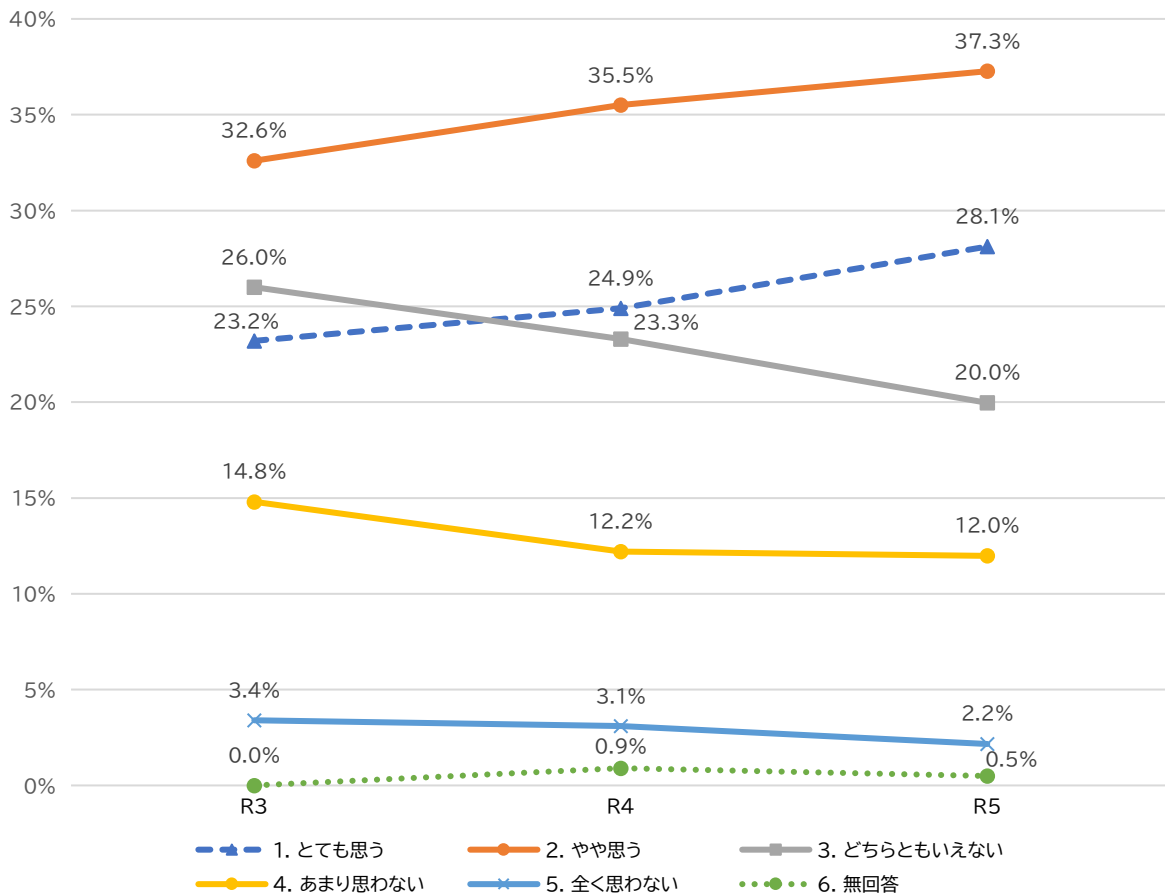
● 観光が盛んになると良いという回答について、「やや思う」が37.3%、「とても思う」が28.1%となっている。

項目	回答数	構成比
1. とても思う	169	28.1%
2. やや思う	224	37.3%
3. どちらともいえない	120	20.0%
4. あまり思わない	72	12.0%
5. 全く思わない	13	2.2%
6. 無回答	3	0.5%
計	601	100%



《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

● 「やや思う」「とても思う」について、ともに増加している。(「やや思う」R3:32.6%→R4:35.5%→R5:37.3%) (「とても思う」R3:23.2%→R4:24.9%→R5:28.1%)

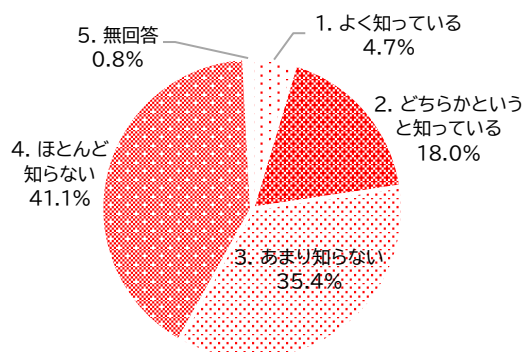


3. 地域活動について

問 8 あなたは、自分が困っている時に、自治会や公的相談所、民生委員等、相談できる機関や人をどの程度知っていますか。(〇は1つ)

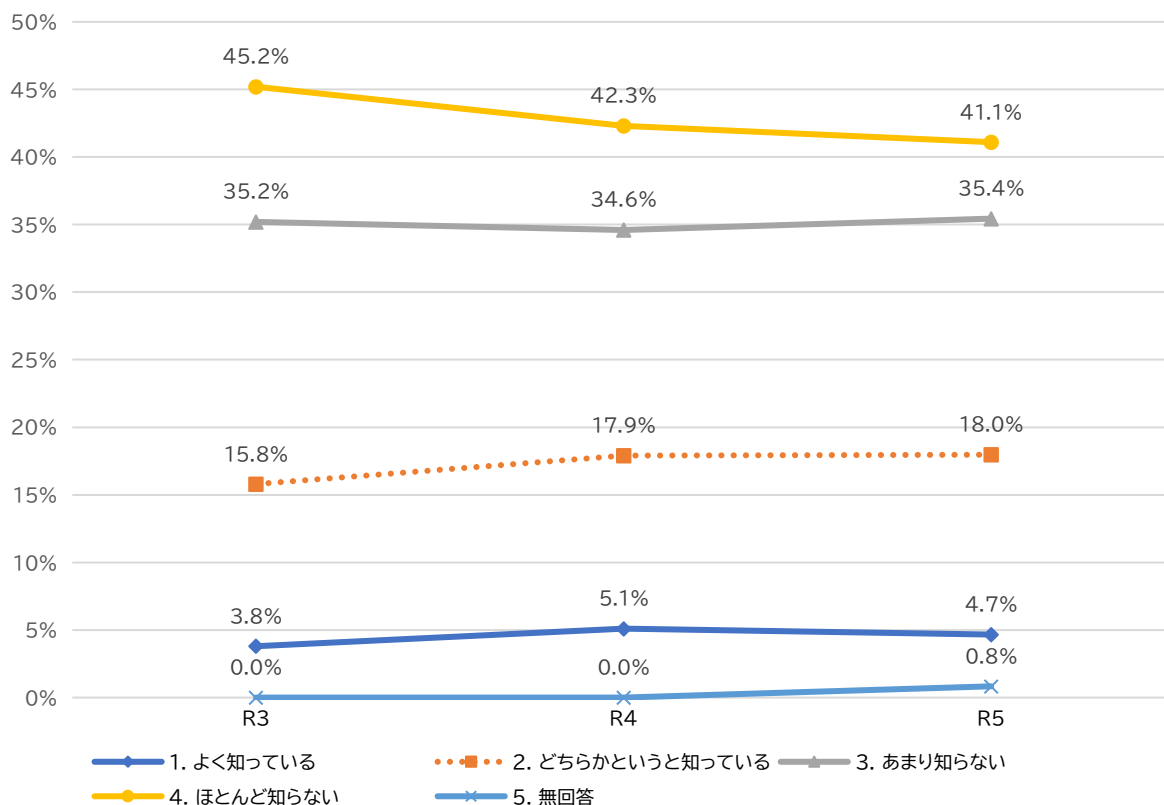
- 困っている時に相談できる機関や人について、「ほとんど知らない」が41.1%で最も高く、次いで、「あまり知らない」が35.4%となっている。

項目	回答数	構成比
1. よく知っている	28	4.7%
2. どちらかという知っている	108	18.0%
3. あまり知らない	213	35.4%
4. ほとんど知らない	247	41.1%
5. 無回答	5	0.8%
計	601	100%



《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

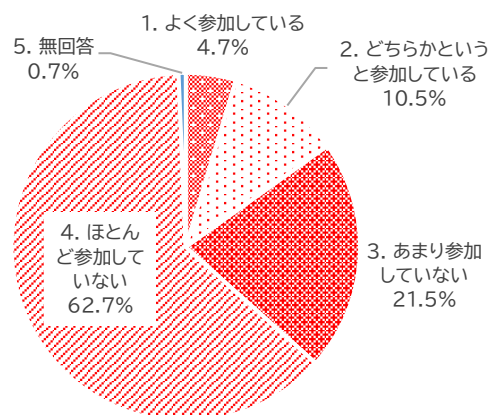
- 「ほとんど知らない」は減少しているが、全体的に概ね横ばいの推移となっている。
- 「ほとんど知らない」及び「あまり知らない」の2項目が全体の7割以上を占めている。



問9 あなたは、地域活動(自治会・通り会・PT(C)Aの活動)にどの程度参加していますか。(〇は1つ)

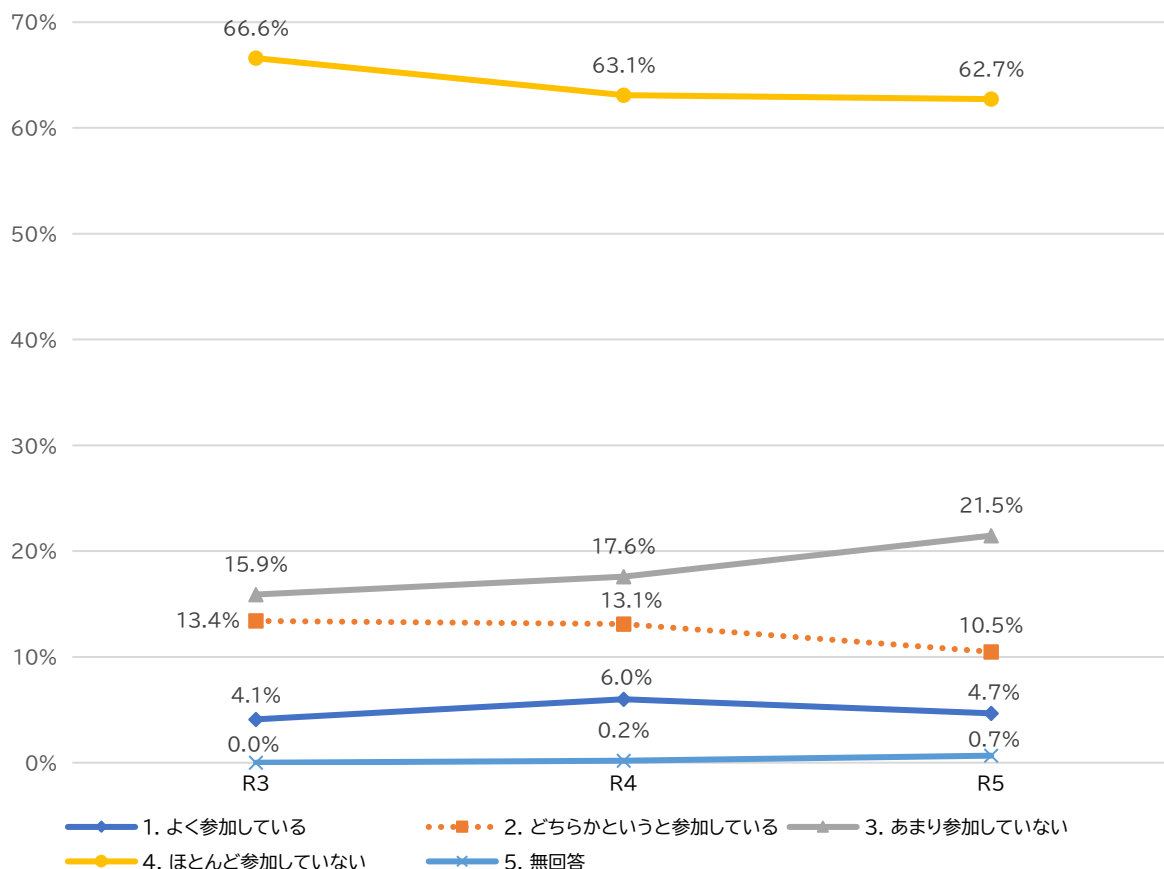
- 地域活動について、「ほとんど参加していない」が62.7%と最も高く、次いで、「あまり参加していない」が21.5%となっている。

項目	回答数	構成比
1. よく参加している	28	4.7%
2. どちらかというに参加している	63	10.5%
3. あまり参加していない	129	21.5%
4. ほとんど参加していない	377	62.7%
5. 無回答	4	0.7%
計	601	100%



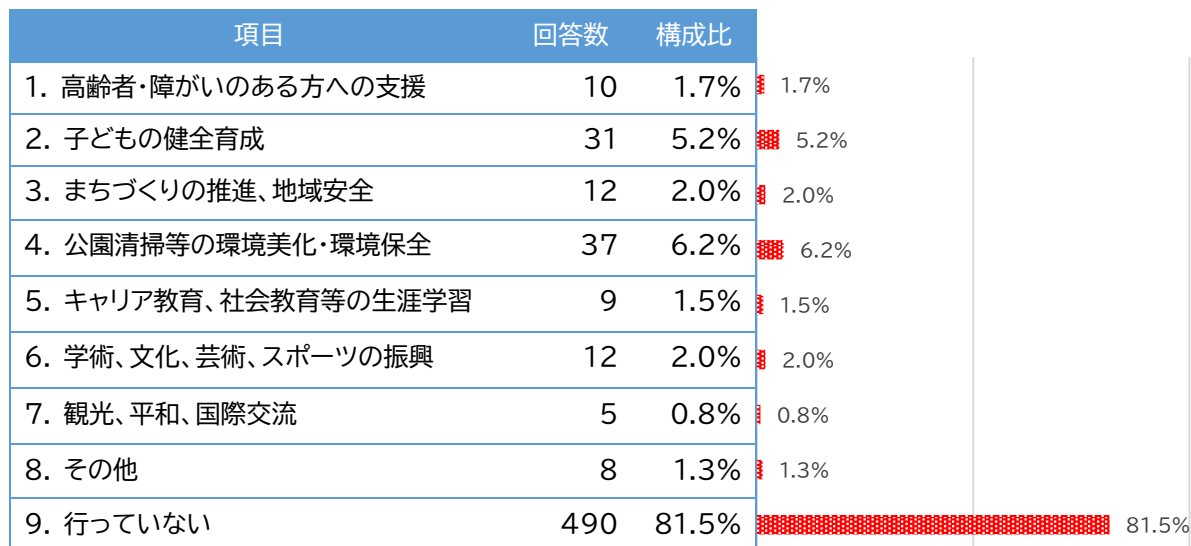
《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 直近3年間に於いては、「ほとんど参加しない」が最も高いポイントとなっており、他の項目との差が非常に大きい状況が続いている。
- 「ほとんど参加していない」「あまり参加していない」の2項目が全体の8割以上を占めている。



問 10 あなたは、現在、以下のようなボランティア活動を行っていますか。(あてはまるもの全てに○)

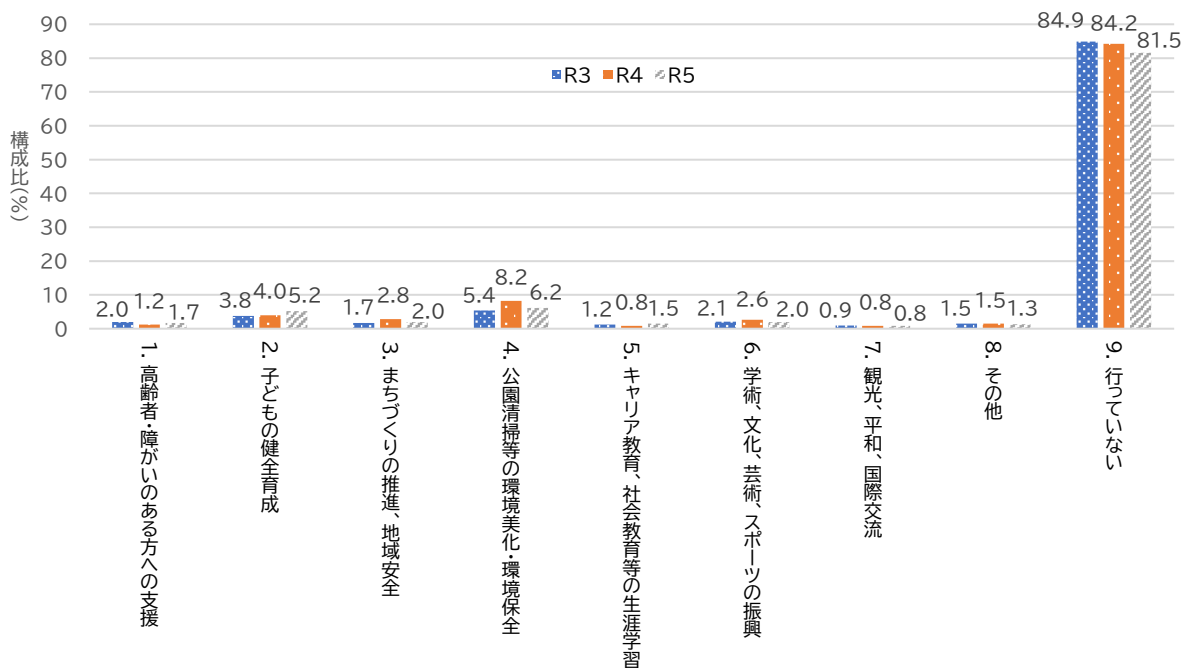
- ボランティア活動について、「行っていない」が 81.5%と最も高く、次いで「子どもの健全育成」が 5.2%となっている。



※回答者数（601人）を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 直近3年間においては、「行っていない」が最も高いポイントとなっており、他の項目との差が非常に大きい状況が続いている。



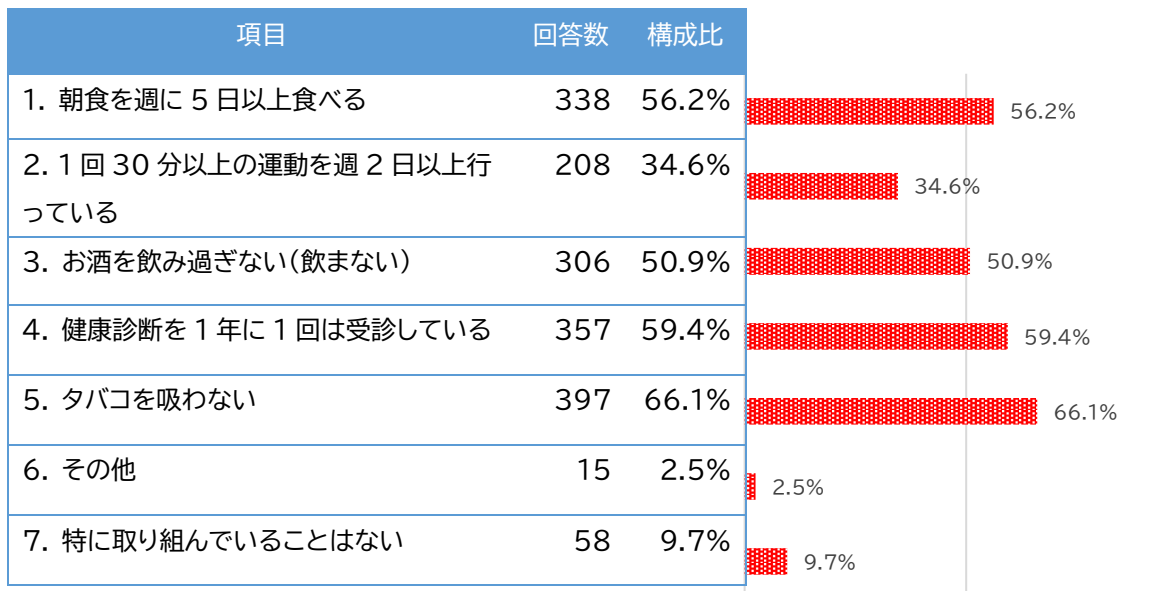
《「8.その他」の主な内容》

- ・ 自治会の相談役 ・ 自治会清掃 ・ 他市でのクリーンビーチ ・ 里親活動 等

4. 健康、スポーツについて

問 11 あなたは、健康のために日常的に取り組んでいることはありますか。(あてはまるもの全てに○)

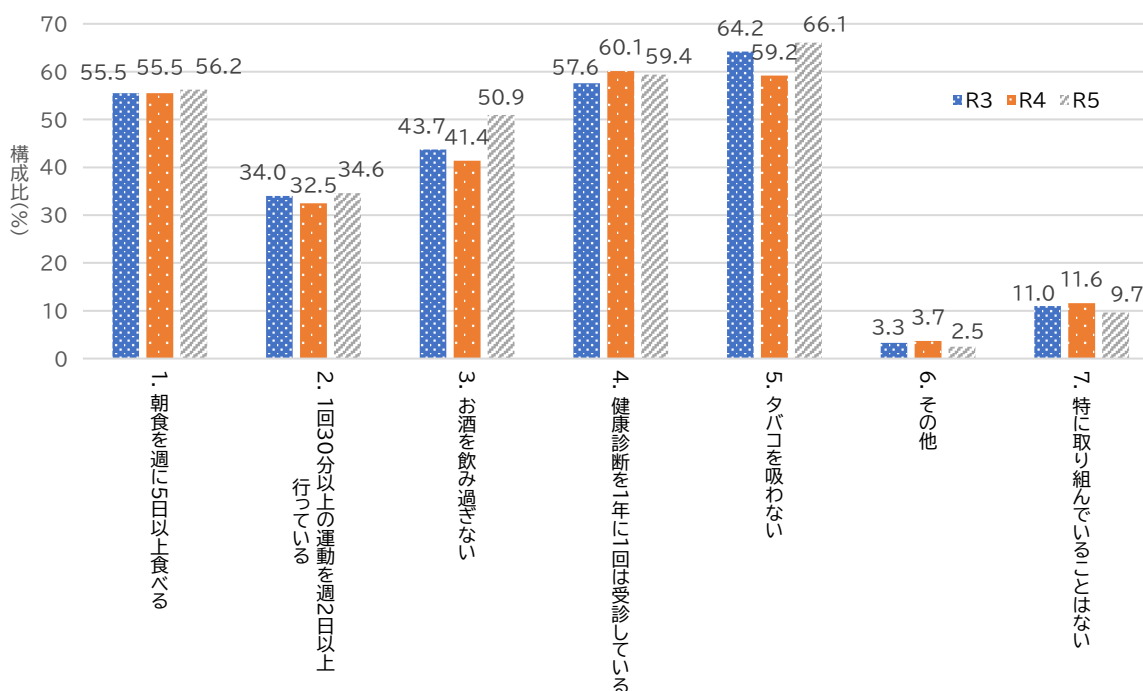
- 健康のための取組について、「タバコを吸わない」が 66.1%と最も高く、次いで、「健康診断を1年に1回は受診している」が 59.4%、「朝食を週に5日以上食べる」が 56.2%の順となっている。



※回答者数(601人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 直近3年間においては、「タバコを吸わない」、「健康診断を1年に1回は受診している」、「朝食を週に5日以上食べる」が上位を継続している。



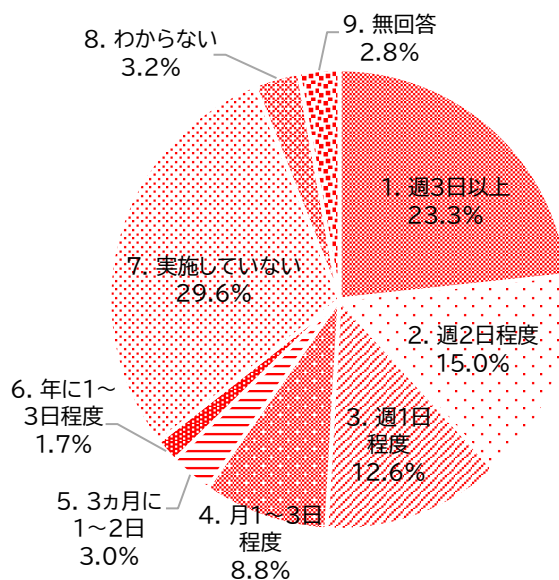
«「6.その他」の主な内容»

- ・ サークル活動
- ・ ジム
- ・ ストレッチ(外3人)
- ・ よくねる。
- ・ リハビリをしている。
- ・ 塩分摂取を控える。
- ・ 健康増進型保険加入。(外1人)
- ・ 睡眠時間をしっかりとること。食事の栄養バランスに気をつけること。
- ・ 全身マッサージ
- ・ 糖質の摂りすぎに注意して、食材もできる限り地産地消で外国産はなるべく買わない。
- ・ 病院に通院しているのでそのつど検査している。

問 12 あなたは、30 分以上の運動をどの程度の頻度で行っていますか。(〇は 1 つ)

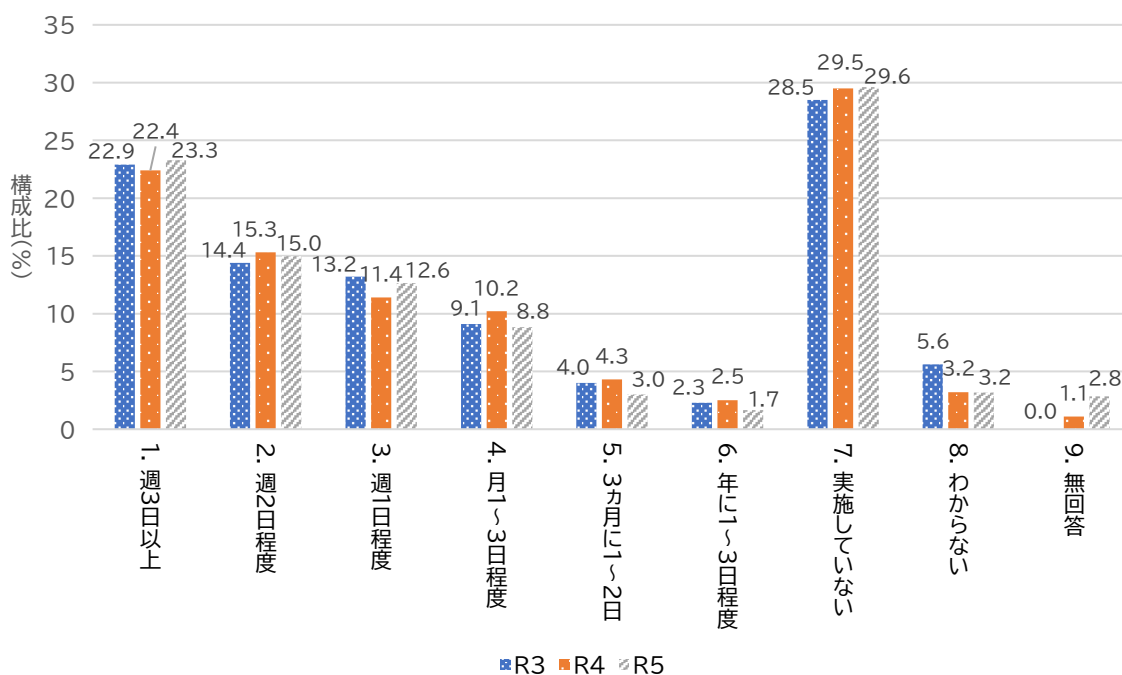
- 運動の頻度について、「実施していない」が 29.6%と最も高く、次いで、「週3日以上」が 23.3%、「週2日程度」が 15.0%の順となっている。

項目	回答数	構成比
1. 週 3 日以上	140	23.3%
2. 週 2 日程度	90	15.0%
3. 週 1 日程度	76	12.6%
4. 月 1～3 日程度	53	8.8%
5. 3 ヶ月に 1～2 日	18	3.0%
6. 年に 1～3 日程度	10	1.7%
7. 実施していない	178	29.6%
8. わからない	19	3.2%
9. 無回答	17	2.8%
計	601	100%



《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

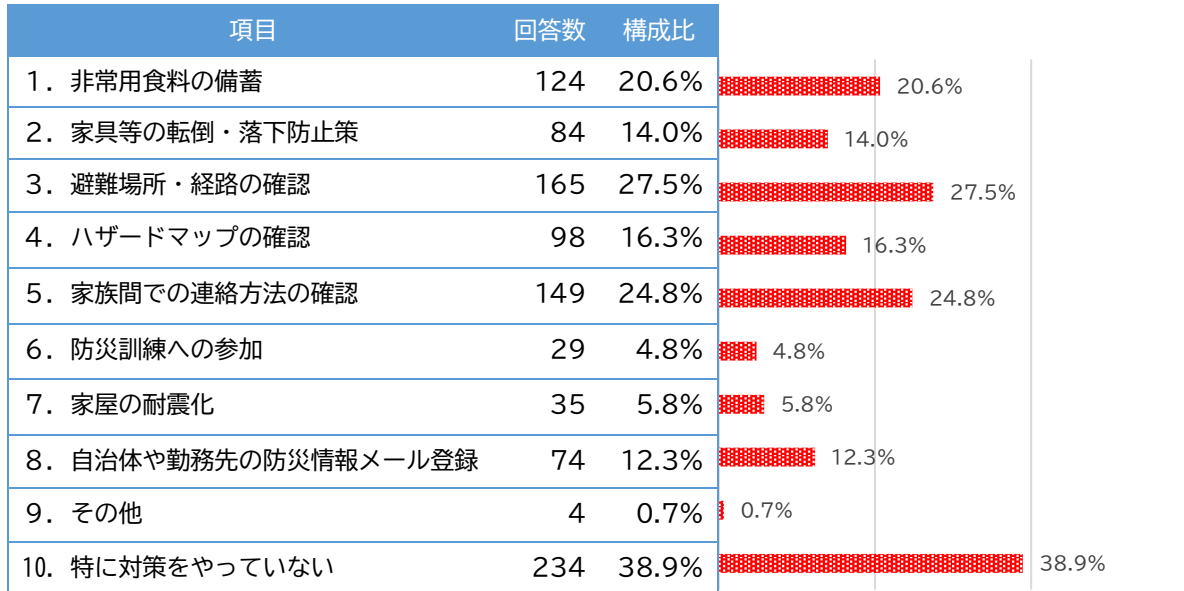
- 直近3年間においては、「実施していない」、「週3日以上」、「週2日程度」が上位を継続している。



5. 防災、消防・救急、公共交通について

問 13 あなたが実施している防災対策は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

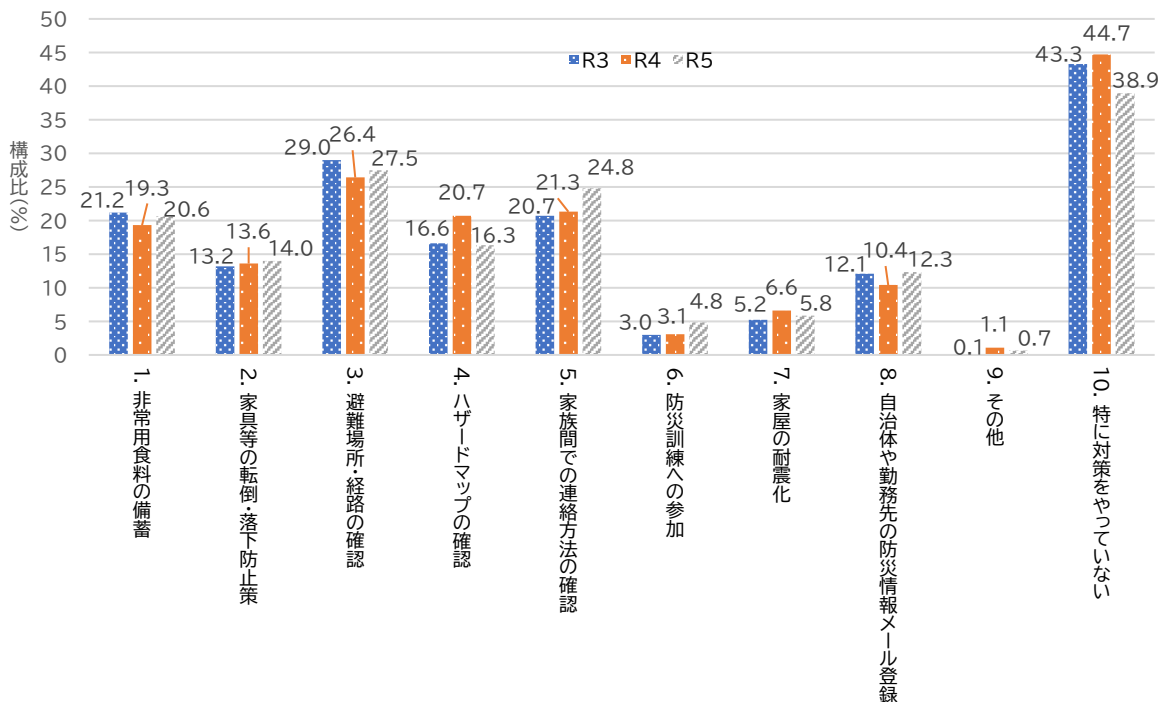
- 防災対策について、「特に対策をやっていない」が 38.9%と最も高く、次いで、「避難場所・経路の確認」が 27.5%、「家族間での連絡方法の確認」が 24.8%の順となっている。



※回答者数(601人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 令和4年度と比較すると、「特に対策をやっていない」が 5.8ポイント減少(R4:44.7%→R5:38.9%)しているが、最も高いポイントを継続している。



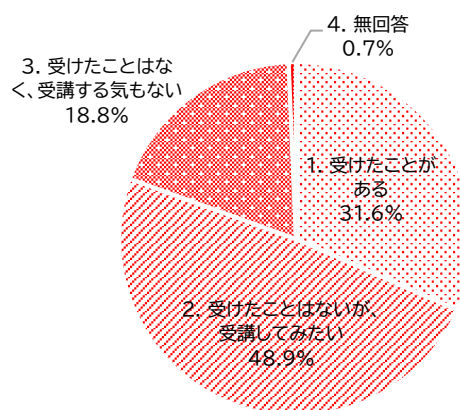
《「9.その他」の主な内容》

- ・ 固定資産をあまり増やさない。 ・ 災害用持ち出し品の常備。 ・ 非常時の食・水を携帯する。 等

問 14 あなたは、過去 5 年以内に応急手当(心肺蘇生法及び AED の取扱い)の講習を受けたことがありますか。(〇は 1 つ)

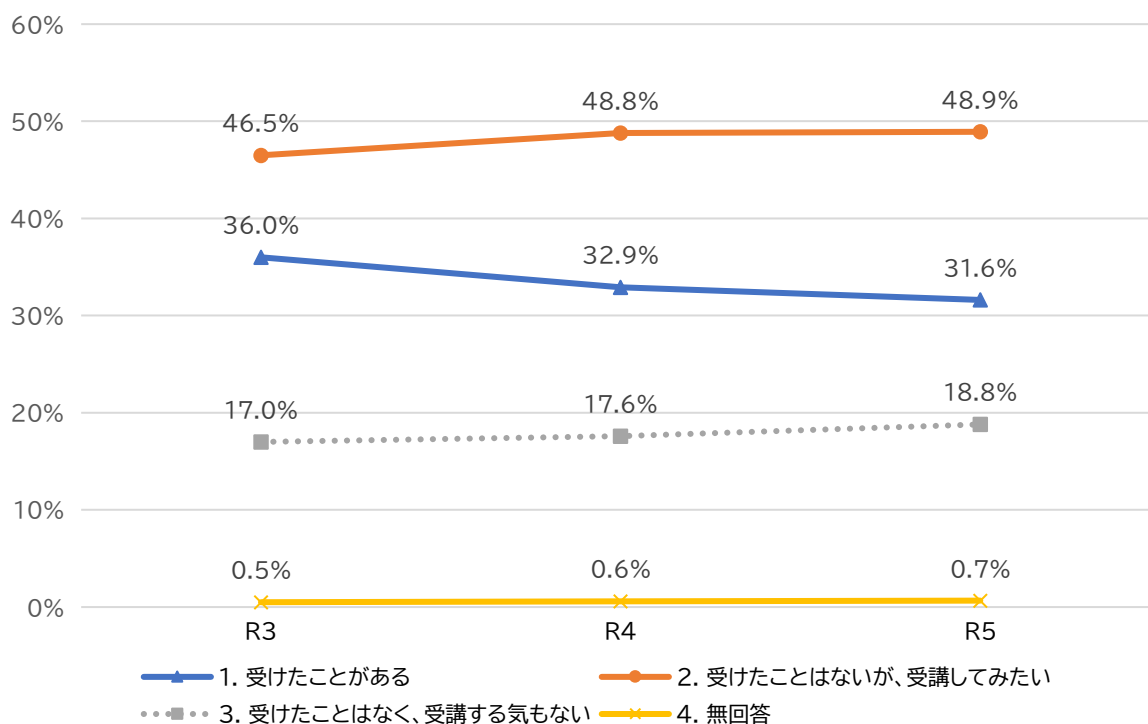
- 過去5年以内の応急手当の講習受講について、「受けたことはないが、受講してみたい」が 48.9%と最も高く、次いで、「受けたことがある」が 31.6%となっている。

項目	回答数	構成比
1. 受けたことがある	190	31.6%
2. 受けたことはないが、受講してみたい	294	48.9%
3. 受けたことはなく、受講する気もない	113	18.8%
4. 無回答	4	0.7%
計	601	100%



《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 「受けたことはなく、受講する気もない」が年々増加(R3:17.0%→R4:17.6%→R5:18.8%)しており、「受けたことがある」が年々減少(R3:36.0%→R4:32.9%→R5:31.6%)している。

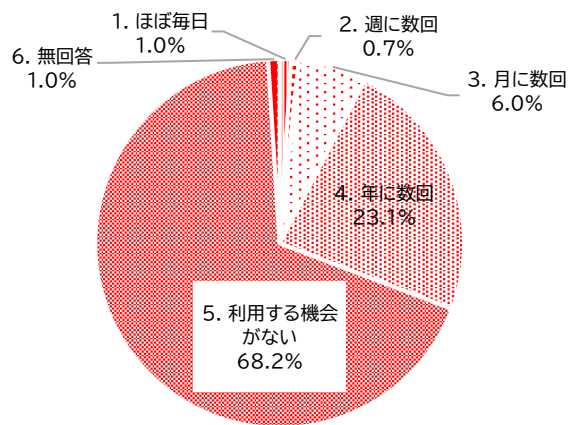


問 15 あなたは、現在、公共交通機関をどの程度利用されていますか。(それぞれに○を1つ)

【モノレール】

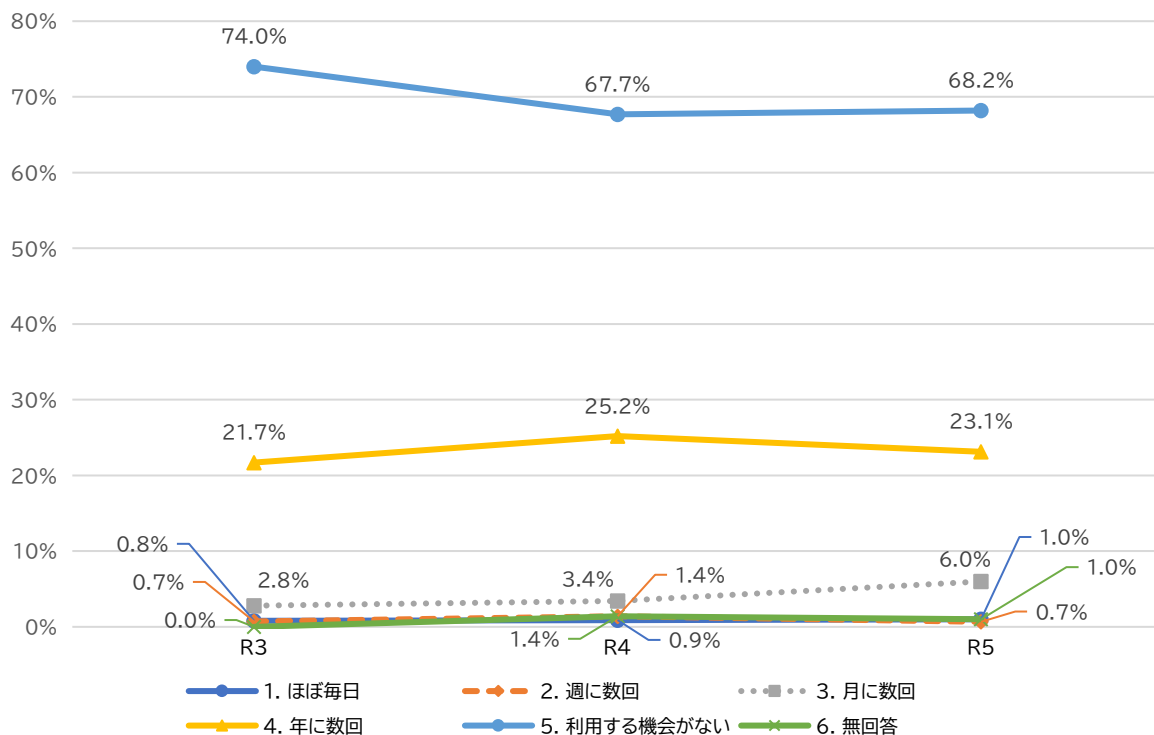
● モノレールの利用頻度については、「利用する機会がない」が68.2%を占めている。

項目	回答数	構成比
1. ほぼ毎日	6	1.0%
2. 週に数回	4	0.7%
3. 月に数回	36	6.0%
4. 年に数回	139	23.1%
5. 利用する機会がない	410	68.2%
6. 無回答	6	1.0%
計	601	100%



《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

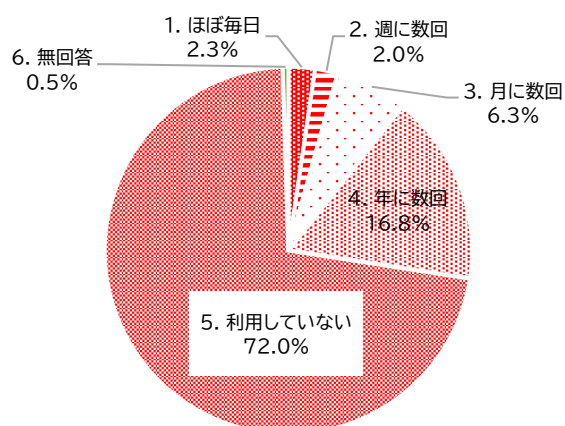
● 直近3年においては、「利用する機会がない」が最も高いポイントとなっており、他の項目との差が非常に大きい状況が続いている。



【路線バス】

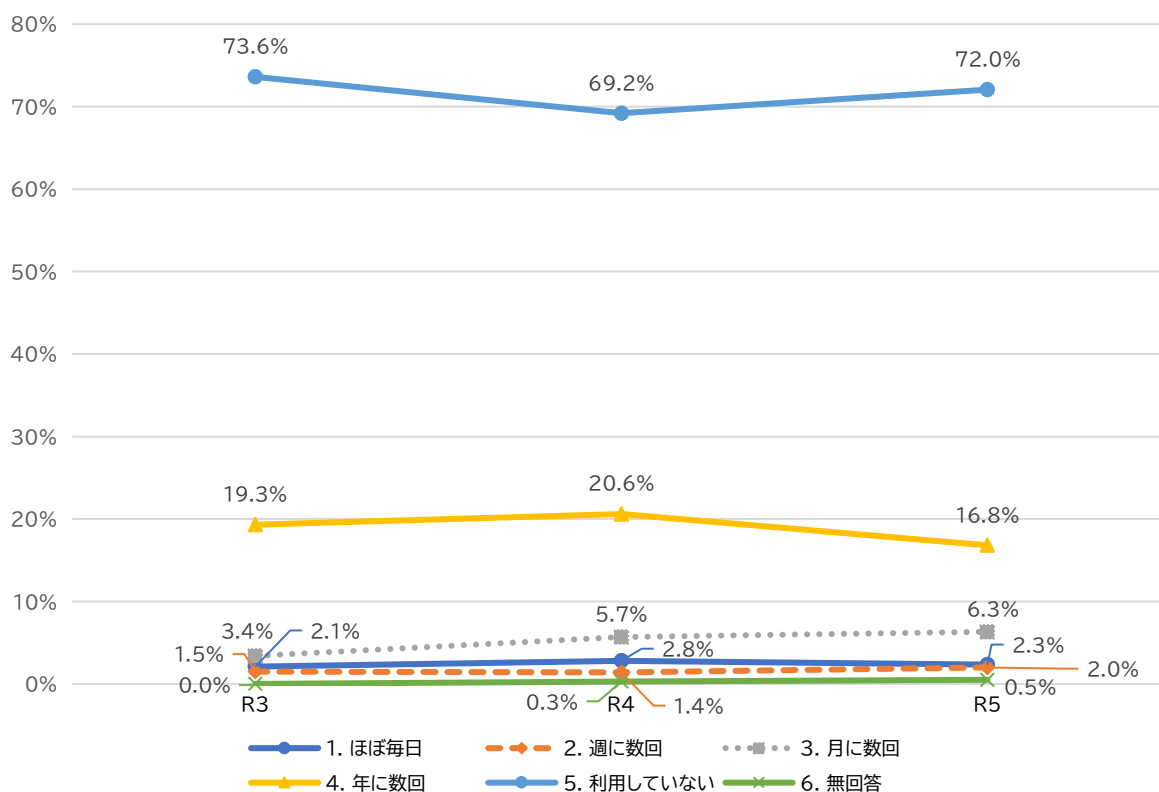
- 路線バスの利用頻度については、「利用していない」が 72.0%を占めている。

項目	回答数	構成比
1. ほぼ毎日	14	2.3%
2. 週に数回	12	2.0%
3. 月に数回	38	6.3%
4. 年に数回	101	16.8%
5. 利用していない	433	72.0%
6. 無回答	3	0.5%
計	601	100%



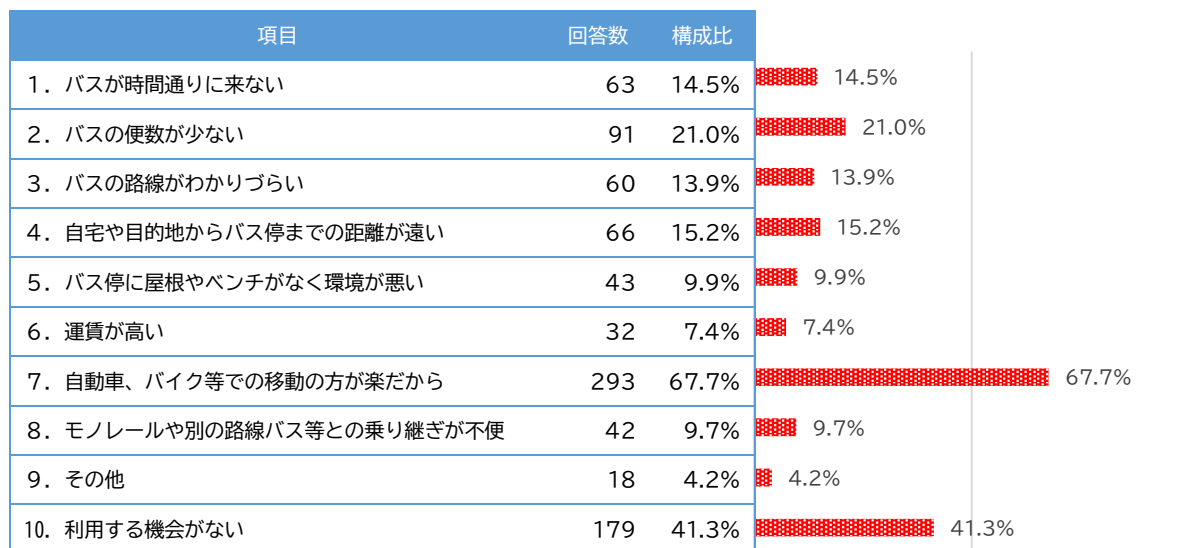
《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 直近3年においては、「利用していない」が最も高いポイントとなっており、他の項目との差が非常に大きい状況が続いている。
- 「月に数回」の利用者が増加している。(R3:3.4%→R4:5.7%→R5:6.3%)



問 15-2 前問で路線バスを「5. 利用していない」と答えた方に伺います。路線バスを利用しない理由は何ですか。(あてはまるもの全てに○)

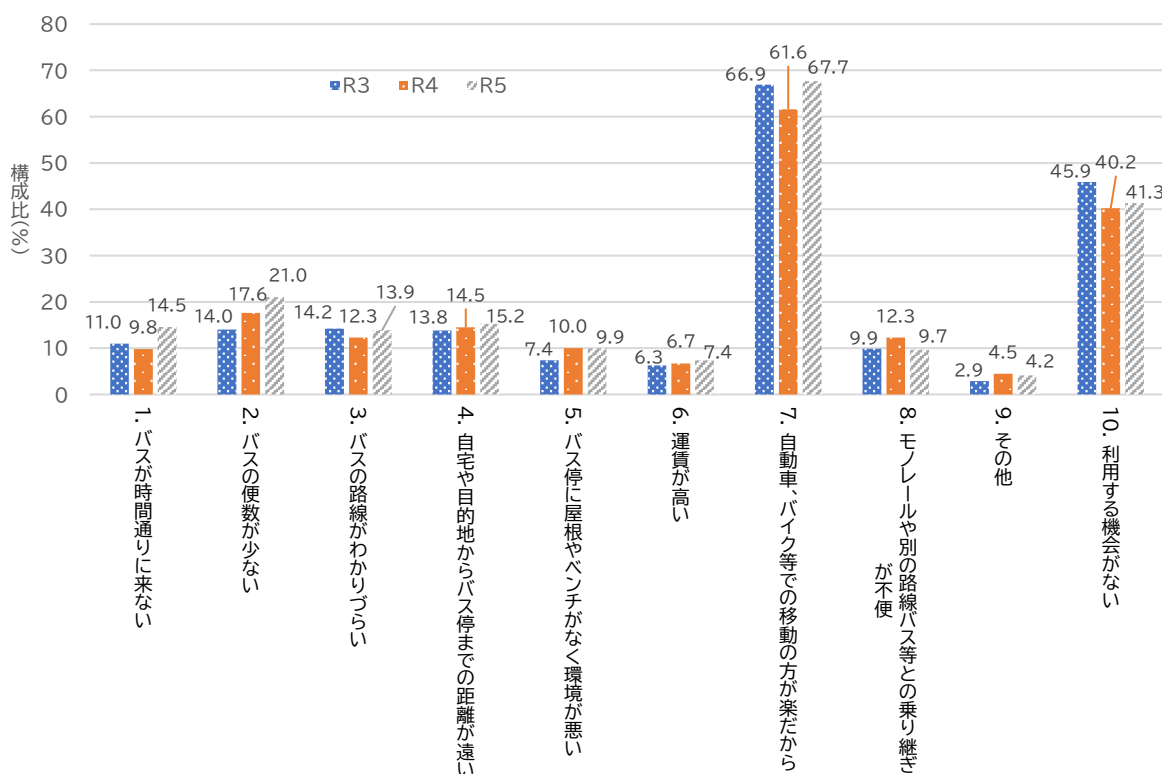
- 路線バスを利用していないと答えた方のうち、その理由として、「自動車、バイク等での移動の方が楽だから」が67.7%と最も高く、次いで「利用する機会がない」が41.3%となっている。



※回答者数(433人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 直近3年間においては、「自動車、バイク等での移動の方が楽だから」及び「利用する機会がない」が上位を継続している。



«「9.その他」の主な内容»

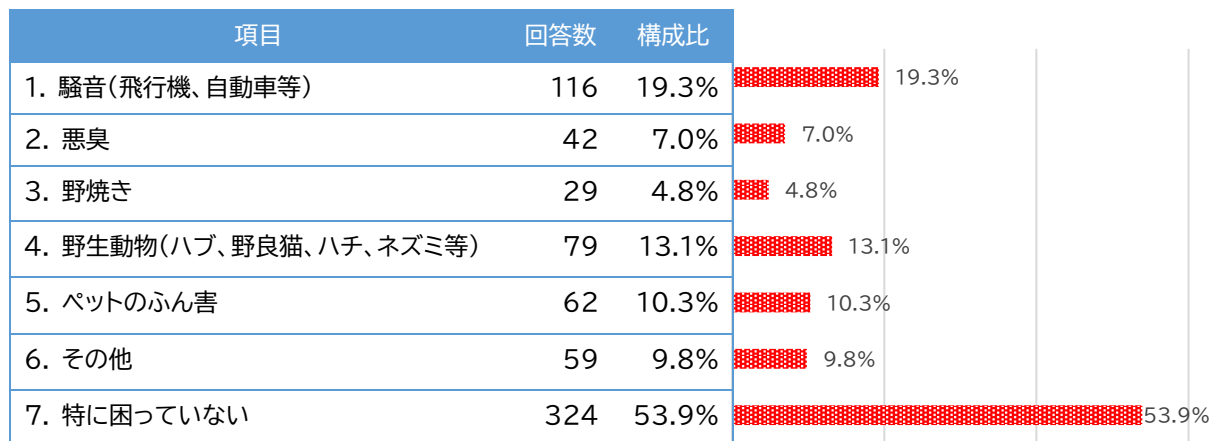
- ・とにかく不便。
- ・ほとんど自家用車を利用している。(外3人)
- ・仕事前に、子供の保育園送り迎えがあるため。
- ・持病を持っているので、乗るのが怖い。
- ・小さい子供がいるので、自家用車の方が移動が楽。
- ・乗り物に酔う。
- ・職場までの路線がない。
- ・職場的に車両で移動した方が効率が良い。
- ・歩き。等



6. 生活環境、自然環境について

問 16 あなたは、日常生活の中で、騒音や悪臭等の生活環境について現在困っていることがありますか。
(あてはまるもの全てに○)

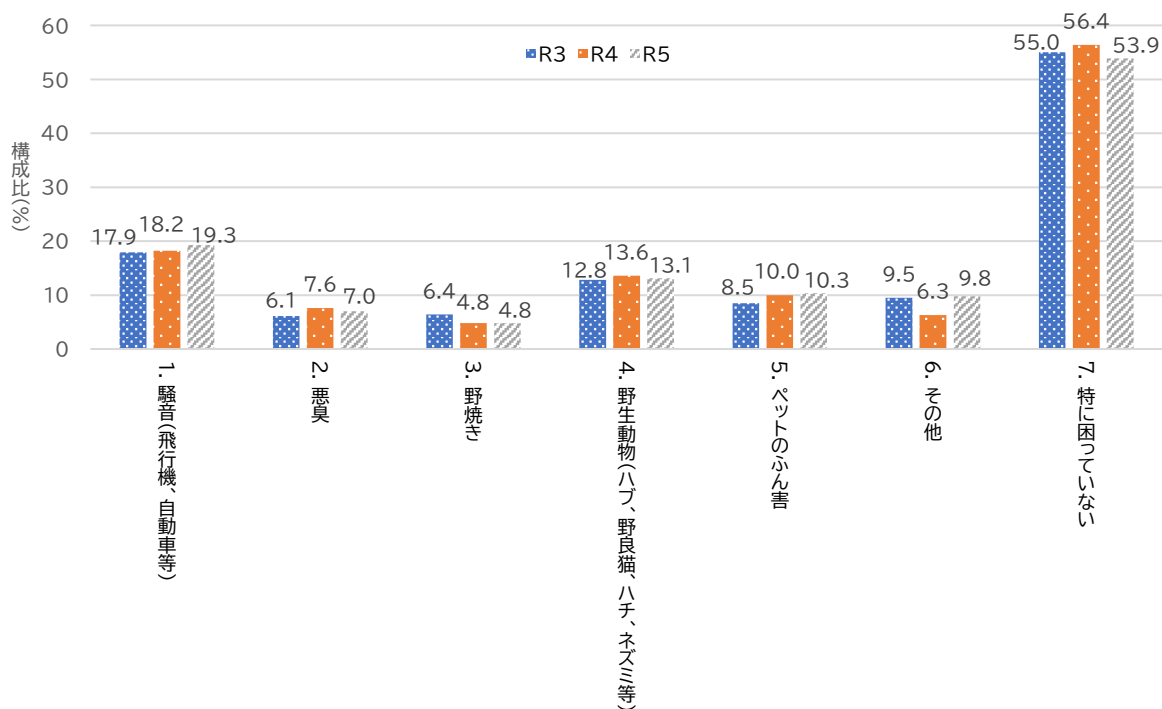
- 生活環境で困っていることについて、「特に困っていない」が 53.9%と最も高く、次いで、「騒音(飛行機、自動車等)」が 19.3%、「野生動物(ハブ、野良猫、ハチ、ネズミ等)」が 13.1%の順となっている。



※回答者数(601人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 直近3年間においては、「特に困っていない」が最も高いポイントとなっており、他の項目との差が大きい状況が続いている。



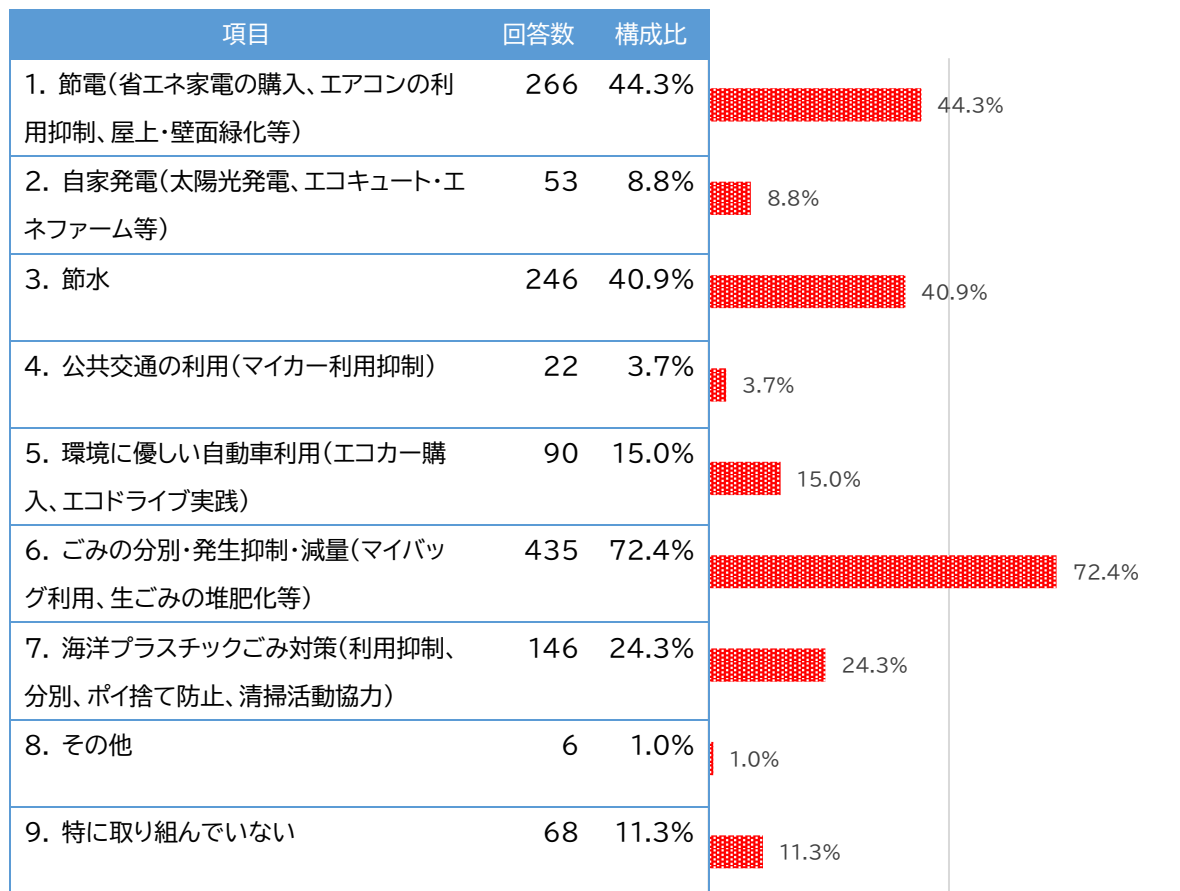
«「6.その他」の主な内容»

- ・ ゴミ出しのマナー(外 4 人)
- ・ 近所の保育所のスピーカーで流す音楽、保育士のマイクを使った大声。
- ・ 宜保ふるじま公園における未成年の喫煙・火遊び・深夜の騒音・オートバイの乗り入れ。
- ・ 家畜の匂いが気になる。
- ・ 自宅周辺の路上駐車が道路の両側や T 字路に停まっていて通行の邪魔になっている。
いつか事故が起こるのではないかと不安である。
- ・ 深夜の近隣公園でのたむろやバイク音。
- ・ 自宅近くの公園、お祭り広場で時々ウォーキングをしますが、雨上がりなど大量のアフリカマイマイが発生するため、心配です。
- ・ 自宅となりの空き地において、雑草が幼児の背の高さほどに生い茂っており、虫なども多いので定期的
に手入れをして頂きたい。
- ・ カラス、猫によるゴミあらし(外 4 人)
- ・ 隣接する農地の樹木の繁茂
- ・ 家の隣の雑草(外 3 人)
- ・ 豊見城高校裏門の用水路の雑草が伸びて困っている。現場を見てほしい。
- ・ ネコの泣き声
- ・ 蚊が多い
- ・ 隣にバス会社がきて騒音排気ガスで困っている。
- ・ バイクの騒音(外 1 人)
- ・ 生活道路の凸凹
- ・ ごみのポイ捨て(外 2 人)
- ・ 家と家との間の水路の草かり
- ・ 下水の臭い
- ・ 近所の工場の爆音
- ・ 土砂崩れ、落ちの心配
- ・ ハト、猫等の糞害(外 2 人)
- ・ 空き家
- ・ 道路わきの雑草(外 1 人)
- ・ 火葬場からのにおいが風向きによってする。
- ・ 大雨時の排水管からの水あふれ。
- ・ ヤスデ
- ・ 車の混雑
- ・ 下水道が通ってない
- ・ レンタカーが増え道をとばして走行する車が増えた。
- ・ 豊崎小からドンキまでの道(川の所)うら道が暗くてこわい。



問 17 あなたは、以下のような環境に優しいエコ活動として、実践していることはありますか。
(あてはまるもの全てに○)

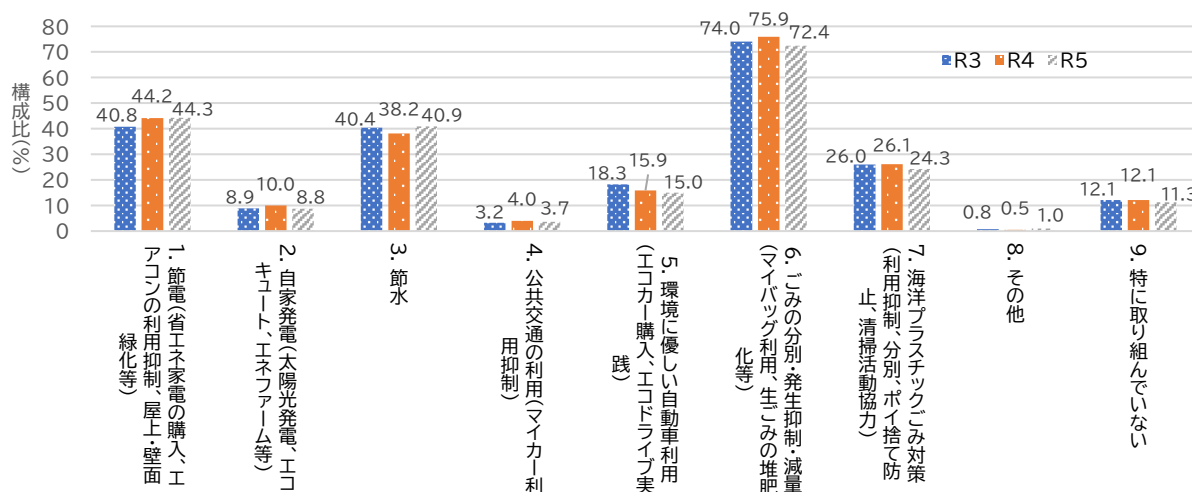
- 回答者が実践しているエコ活動として、「ごみの分別・発生抑制・減量(マイバッグ利用、生ごみの堆肥化等)」が72.4%と最も高い。



※回答者数(601人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

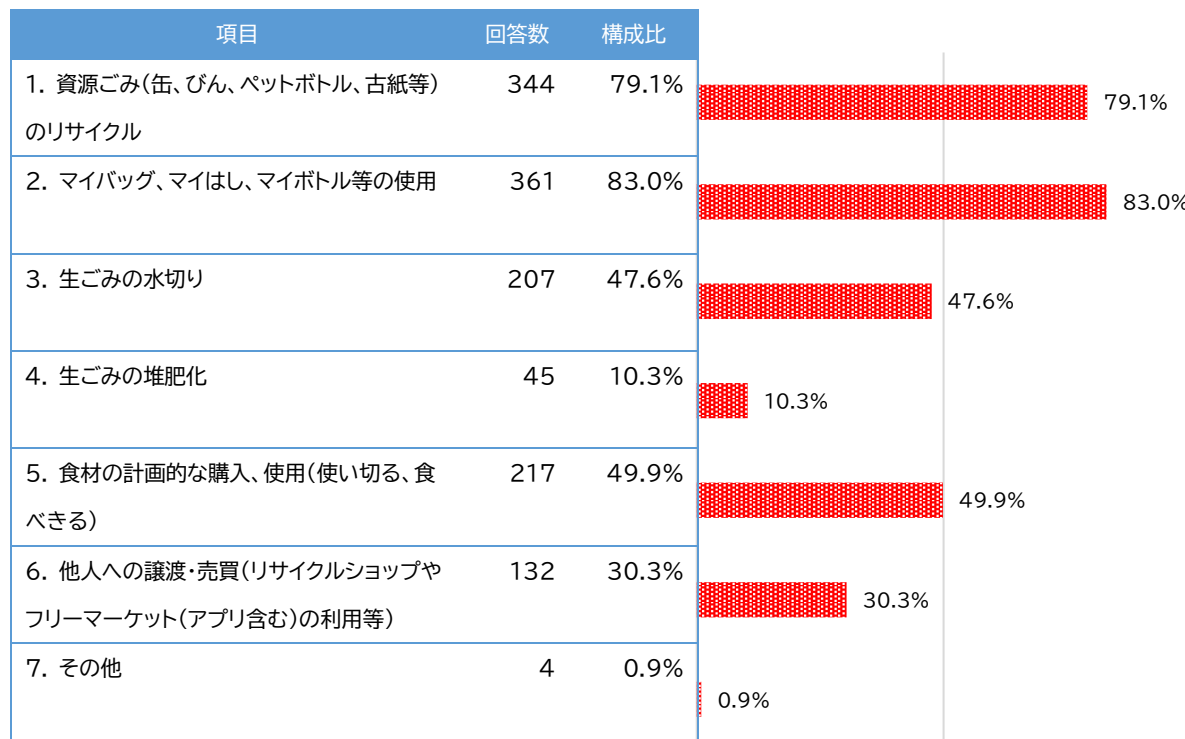
- 直近3年間においては、「ごみの分別・発生抑制・減量」が最も高いポイントとなっている。



《「8.その他」の主な内容》 ・ ビーチクリーン(外1人) ・ 無駄に物を買って替えない。
・ 米の研ぎ汁を草木にまいている。 ・ 自転車通勤 ・ EV

問 17-2 前問で「6. ごみの分別・発生抑制・減量」と答えた方に伺います。ごみを減らすために日頃の暮らしの中で、どのような取組をしていますか。(あてはまるもの全てに○)

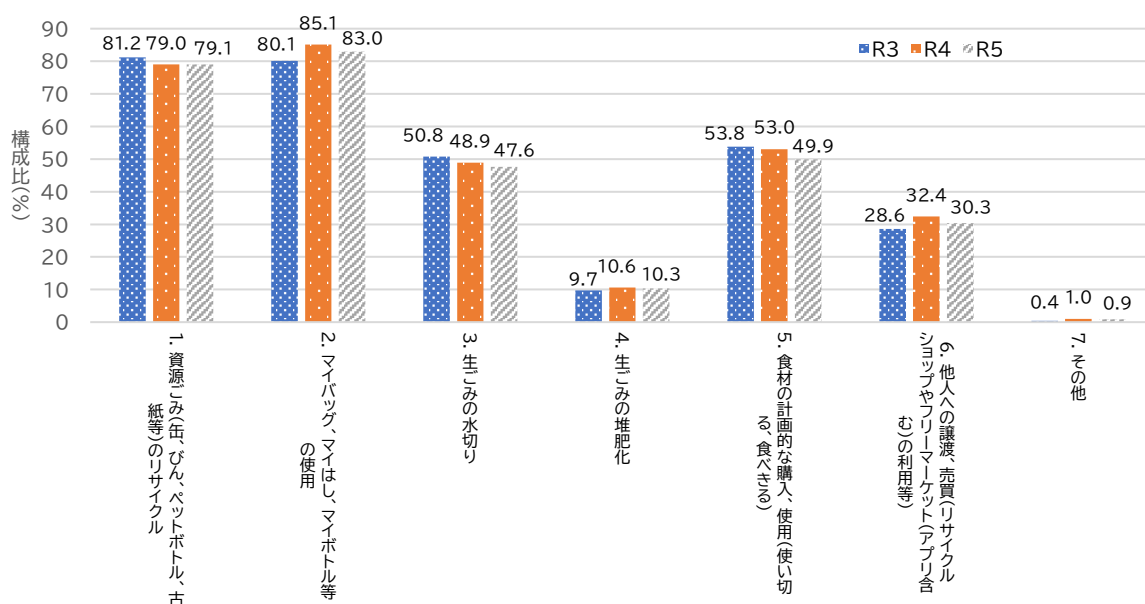
- ごみを減らすための取組として、「マイバッグ、マイはし、マイボトル等の使用」が 83.0%と最も高く、次いで、「資源ごみ(缶、びん、ペットボトル、古紙等)のリサイクル」が 79.1%となっている。



※回答者数(435人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 直近3年間においては、「資源ごみ(缶、びん、ペットボトル、古紙等)のリサイクル」、「マイバッグ、マイはし、マイボトル等の使用」が上位を継続している。



《「7.その他」の主な内容》

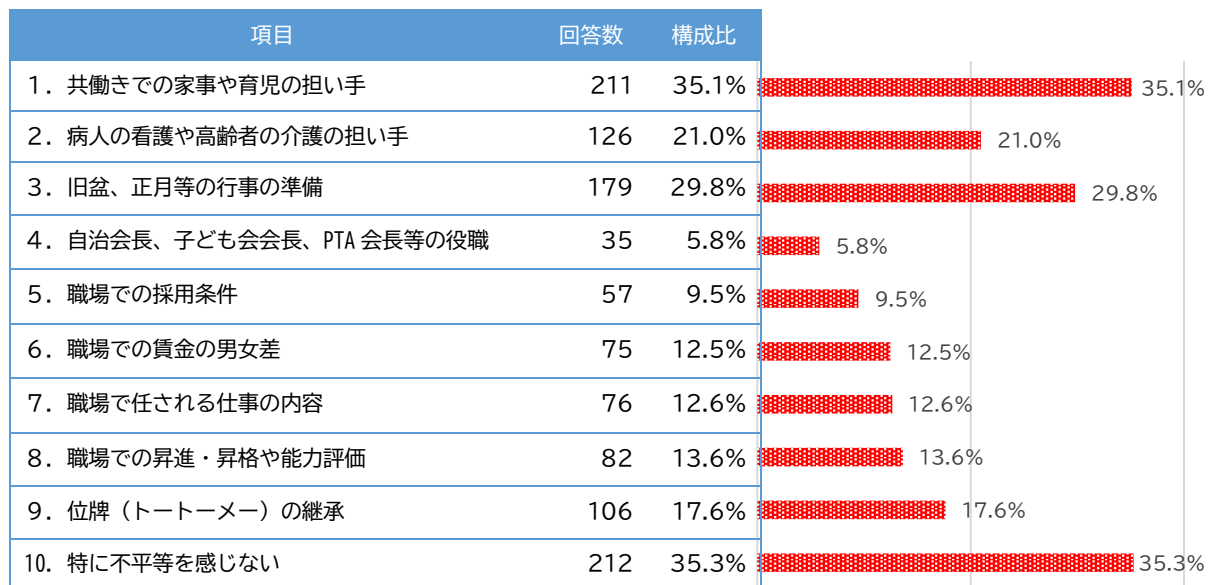
- ・ 生ごみ処理機を市の助成で購入しています。(外1人) ・ ペットボトル、缶ジュースは買わない。等



7. 男女平等、平和について

問 18 あなたは、家庭・職場・地域・社会全般のどのようなことに関して男女の不平等を感じますか。
(あてはまるもの全てに○)

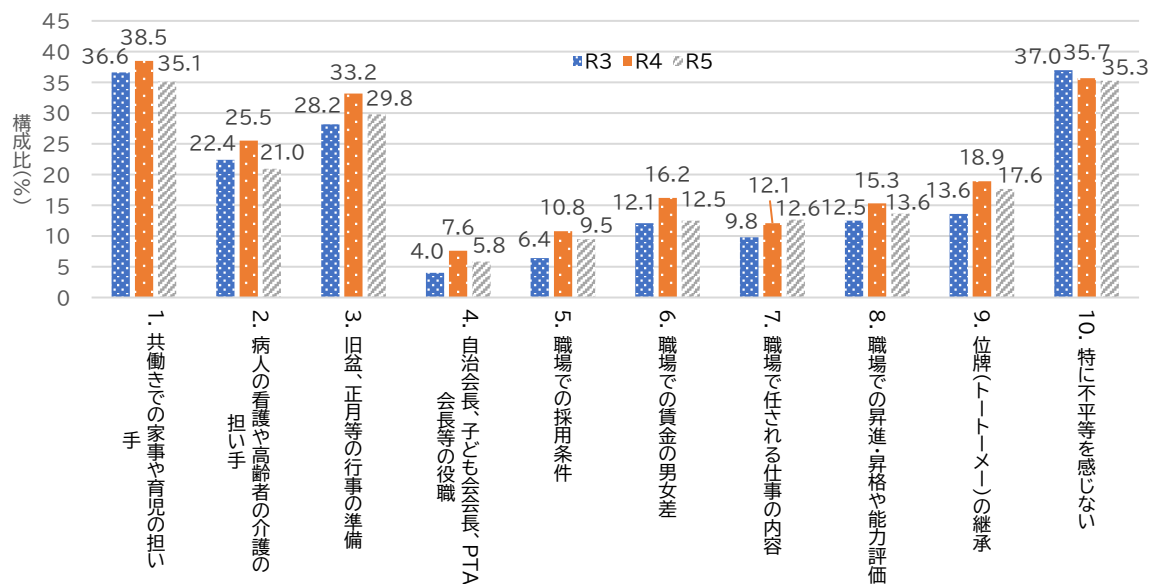
- 男女の不平等を感じることに、「特に不平等を感じない」が 35.3%と最も高く、次いで、「共働きでの家事や育児の担い手」が 35.1%となっている。



※回答者数（601人）を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

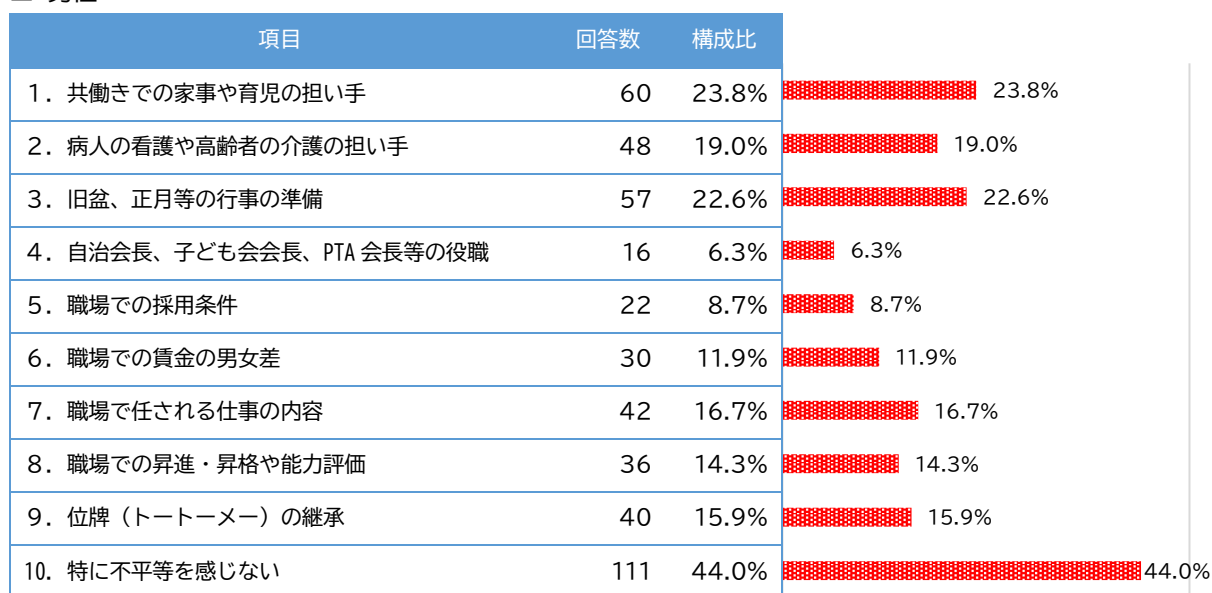
《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 直近3年間においては、不平等を感じる理由として「共働きでの家事や育児の担い手」、「旧盆、正月等の行事の準備」が上位を継続している。



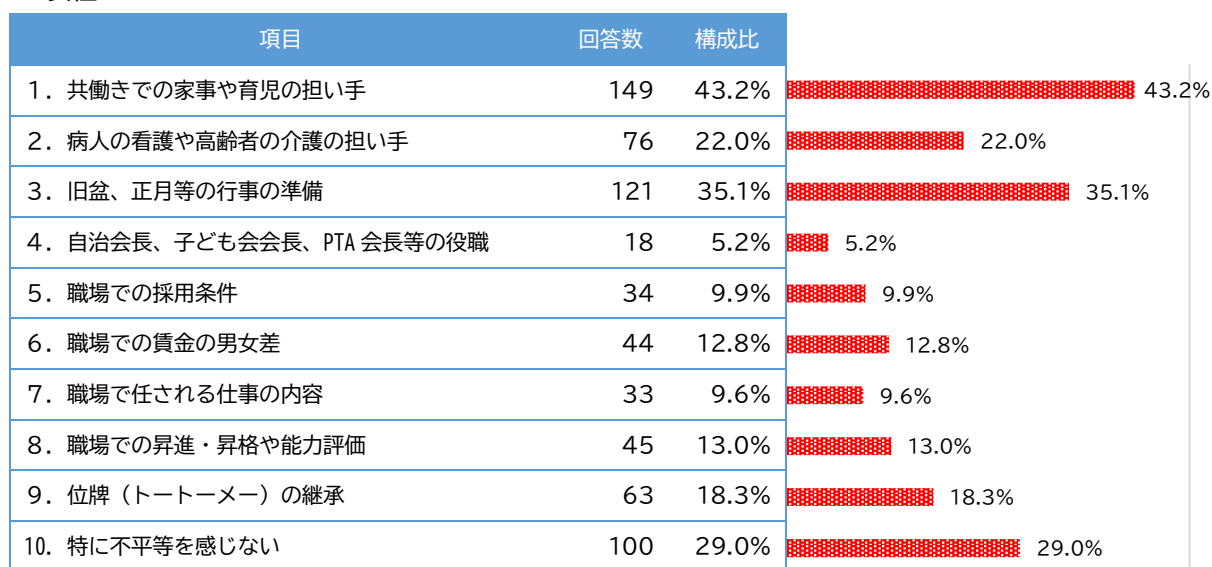
「クロス集計(男女別)」 ※性別不明は除く

■ 男性



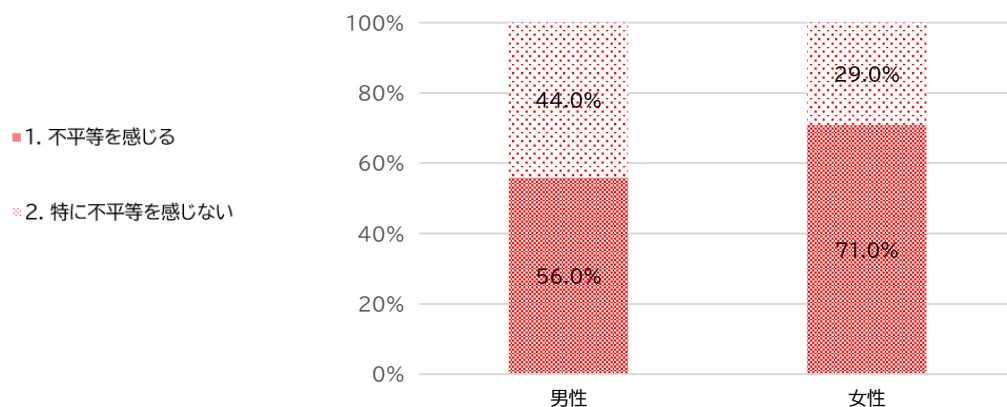
※回答者数（252 人）を母数として構成比を算出したため、合計が 100%を超過している。

■ 女性



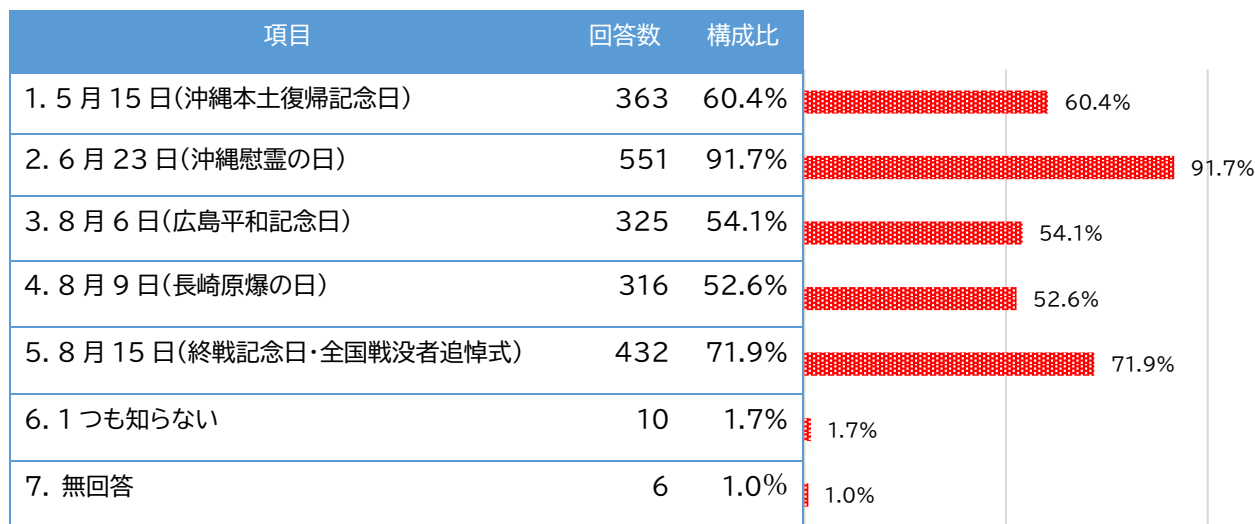
※回答者数（345 人）を母数として構成比を算出したため、合計が 100%を超過している。

■ 男女別2項目換算 ※「特に不平等を感じない」を基準に構成比を 100%として算出



問 19 あなたが知っている平和に関連する日はありますか。(あてはまるもの全てに○)

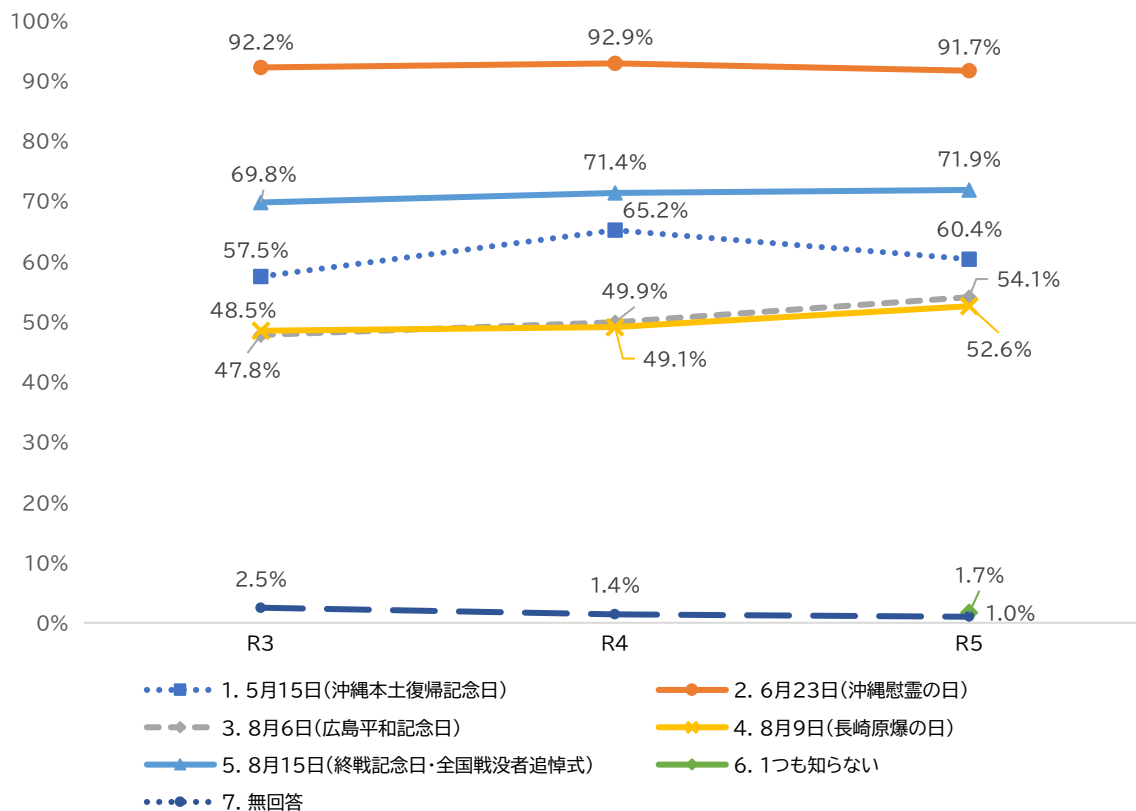
● 平和に関連する日の認知度について、「6月23日(沖縄慰霊の日)」が91.7%と最も高く、次いで、「8月15日(終戦記念日・全国戦没者追悼式)」が71.9%、「5月15日(沖縄本土復帰記念日)」が60.4%となっており、沖縄に関連のある日が上位を占めた。



※回答者数(601人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

● 直近3年間においては、全体的に概ね横ばいの推移となっている。



《クロス集計(年代別)》 ※年代不明は除く

■ 全年代

項目	年代 (総数)	18～ 20歳代 (64)	30歳代 (95)	40歳代 (124)	50歳代 (118)	60歳代 (125)	70歳以上 (74)
	1. 5月15日 (沖縄本土復帰記念日)		24 37.5%	44 46.3%	64 51.6%	82 69.5%	97 77.6%
2. 6月23日 (沖縄慰霊の日)		54 84.4%	90 94.7%	115 92.7%	111 94.1%	113 90.4%	67 90.5%
3. 8月6日 (広島平和記念日)		31 48.4%	40 42.1%	70 56.5%	77 65.3%	65 52.0%	42 56.8%
4. 8月9日 (長崎原爆の日)		30 46.9%	37 38.9%	71 57.3%	77 65.3%	61 48.8%	40 54.1%
5. 8月15日 (終戦記念日・全国戦没者追悼式)		32 50.0%	62 65.3%	92 74.2%	99 83.9%	93 74.4%	54 73.0%

■ 年代範囲限定

項目	年代 (総数)	40歳代 以下 (283)	50歳以上 (317)
	1. 5月15日 (沖縄本土復帰記念日)		132 46.6%
2. 6月23日 (沖縄慰霊の日)		259 91.5%	291 91.8%
3. 8月6日 (広島平和記念日)		141 49.8%	184 58.0%
4. 8月9日 (長崎原爆の日)		138 48.8%	178 56.2%
5. 8月15日 (終戦記念日・全国戦没者追悼式)		186 65.7%	246 77.6%

※ 複数回答可のため、各年代の総数と各年代における各項目の合計数は一致しない。

※ 各年代の総数を母数として割合を算出したため、各年代における割合の合計が100%を超過している。

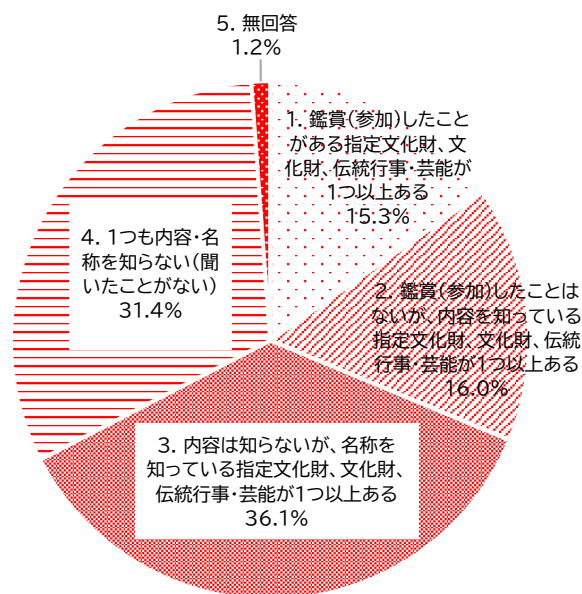


8. 文化財、生涯学習について

問 20 あなたは、市の指定文化財、文化財、伝統行事・芸能を知っていますか。(○は1つ)

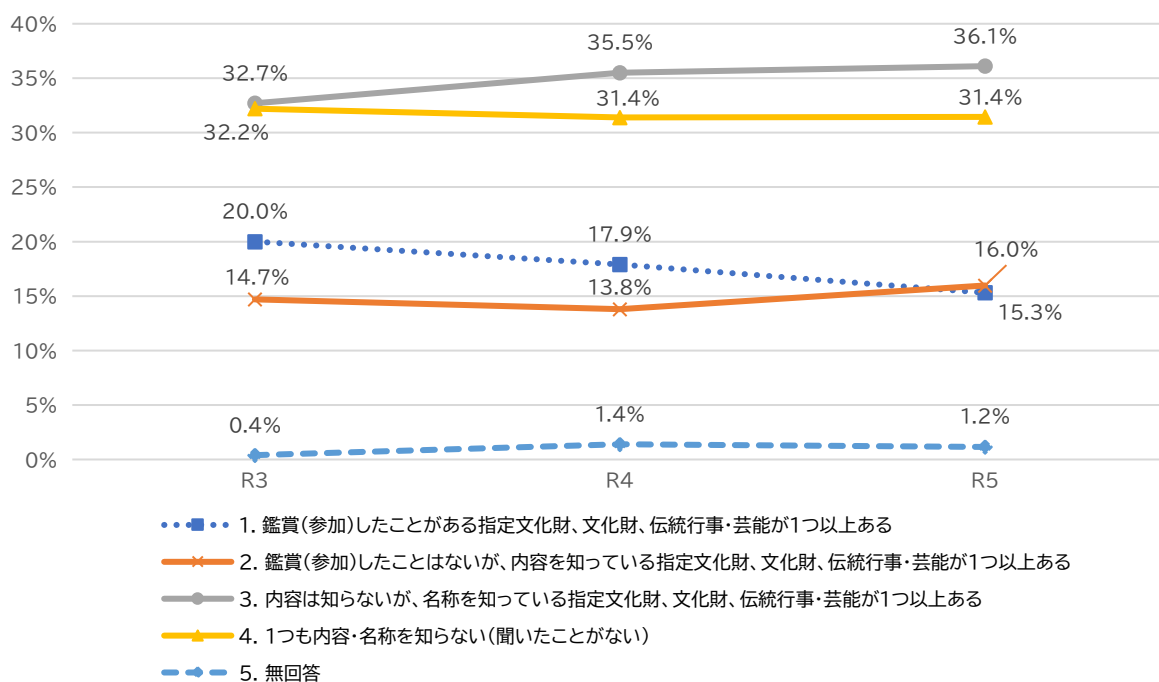
- 市の文化財等の認知度について、「内容は知らないが、名称を知っている指定文化財、文化財、伝統行事・芸能が1つ以上ある」が36.1%と最も高く、次いで、「1つも内容・名称を知らない(聞いたことがない)」が31.4%となっている。

項目	回答数	構成比
1. 鑑賞(参加)したことがある指定文化財、文化財、伝統行事・芸能が1つ以上ある	92	15.3%
2. 鑑賞(参加)したことはないが、内容を知っている指定文化財、文化財、伝統行事・芸能が1つ以上ある	96	16.0%
3. 内容は知らないが、名称を知っている指定文化財、文化財、伝統行事・芸能が1つ以上ある	217	36.1%
4. 1つも内容・名称を知らない(聞いたことがない)	189	31.4%
5. 無回答	7	1.2%
計	601	100%



《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

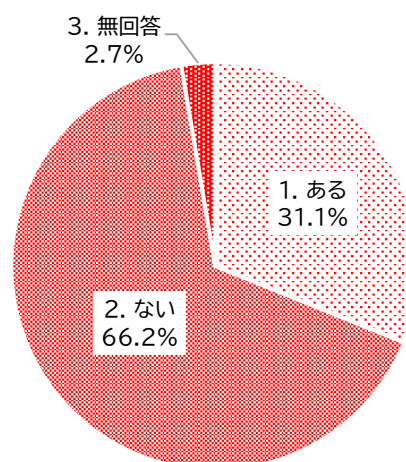
- 直近3年間に於いて、多少の変動はあるものの概ね横ばいの推移となっている。



問 21 あなたは、この1年間で自発的に学習(生涯学習)したことがありますか。(〇は1つ)

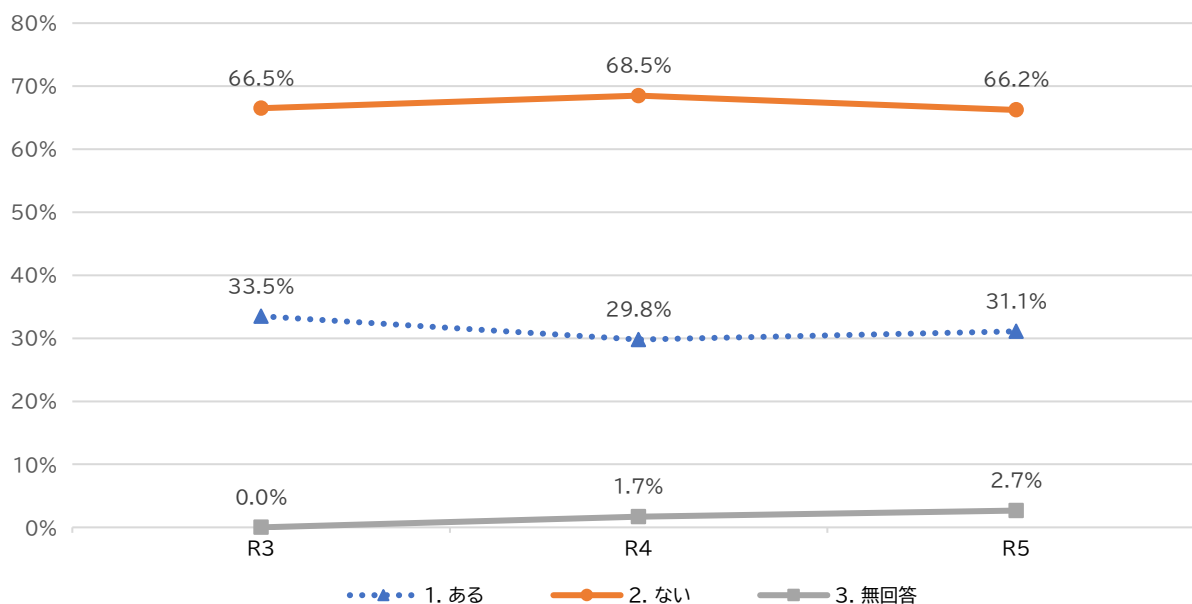
● 自発的な学習の実施について、「ない」が 66.2%、「ある」が 31.1%となっている。

項目	回答数	構成比
1. ある	187	31.1%
2. ない	398	66.2%
3. 無回答	16	2.7%
計	601	100%



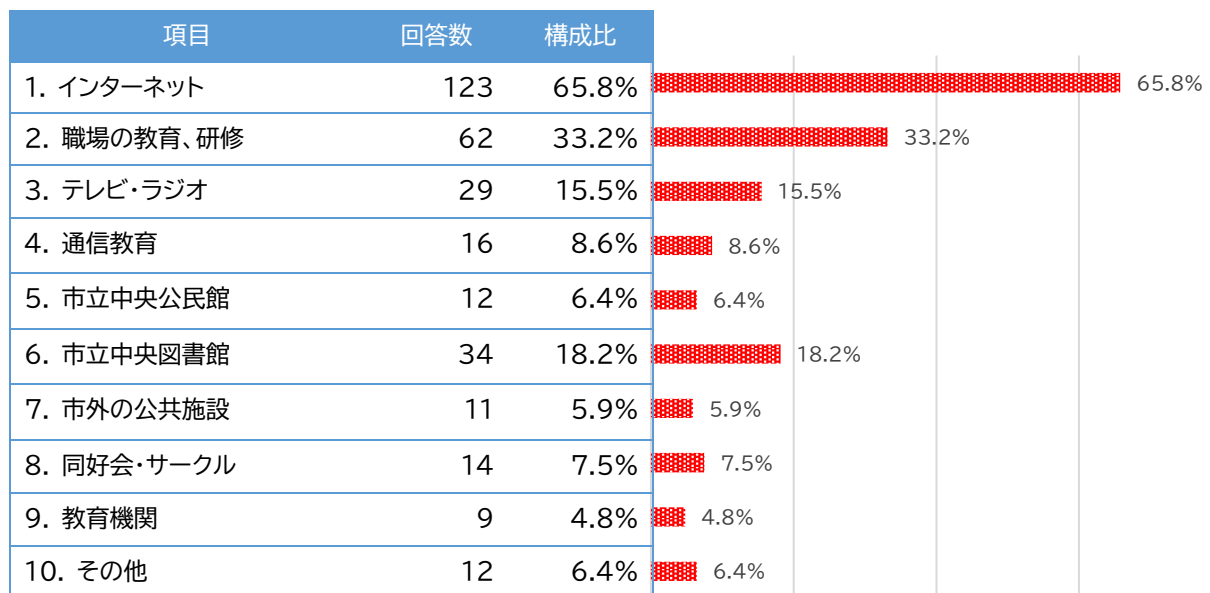
《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

● 自発的な学習の実施について令和4年度と比較すると、「ある」が微増(R4:29.8%→R5:31.1%)し、「ない」が微減(R4:68.5%→R5:66.2%)している。



問 21-2 前問で「1. ある」と答えた方に伺います。どのような場所・手段で学習(生涯学習)していますか。
(あてはまるもの全てに○)

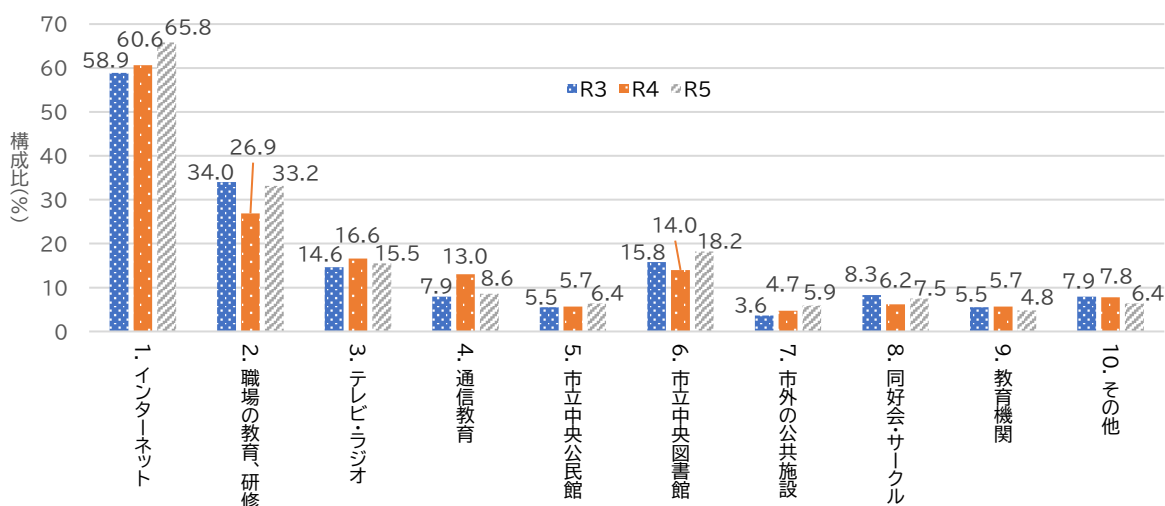
- 自発的に学習すると答えた方のうち、その場所・手段について、「インターネット」が 65.8%と最も高く、次いで、「職場の教育、研修」が 33.2%、「市立中央図書館」が 18.2%の順となっている。



※回答者数(187人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 令和4年度と比較すると、「職場の教育、研修」が 6.3 ポイント増加している。
- 「インターネット」で学習する人が、年々増加している。(R3:58.9%→R4:60.6%→R5:65.8%)



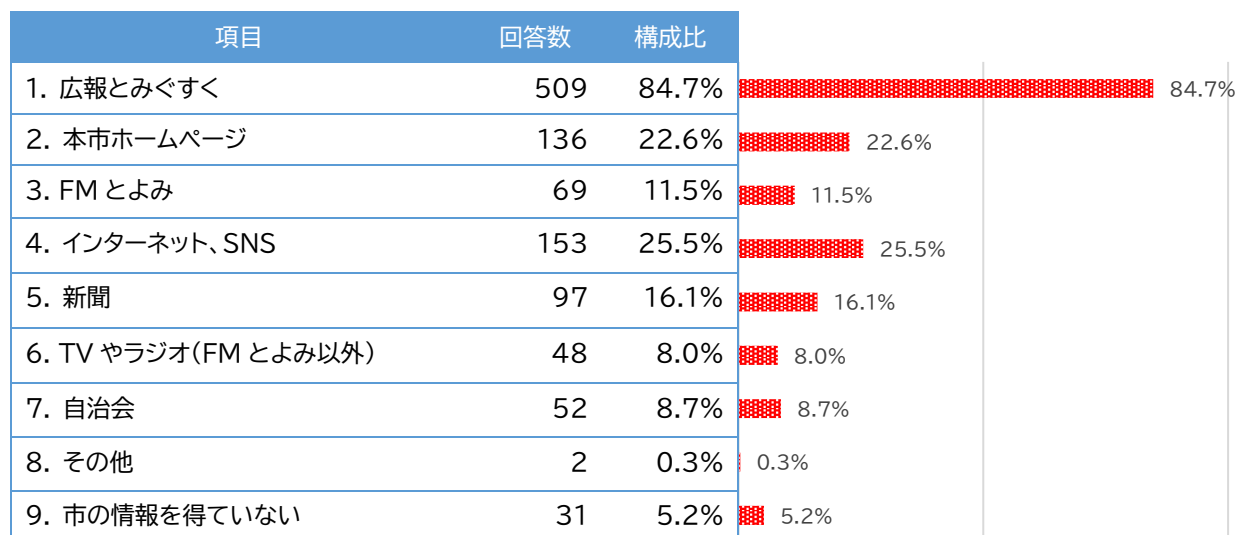
《「10.その他」の主な内容》

- ・ 書籍(他 4 人) ・ セミナー ・ カルチャースクール ・ 豊見城市歴史民俗資料展示室 ・ 自主学习

9. 市政について

問 22 あなたは、市の情報をどのような方法で得ていますか。(あてはまるもの全てに○)

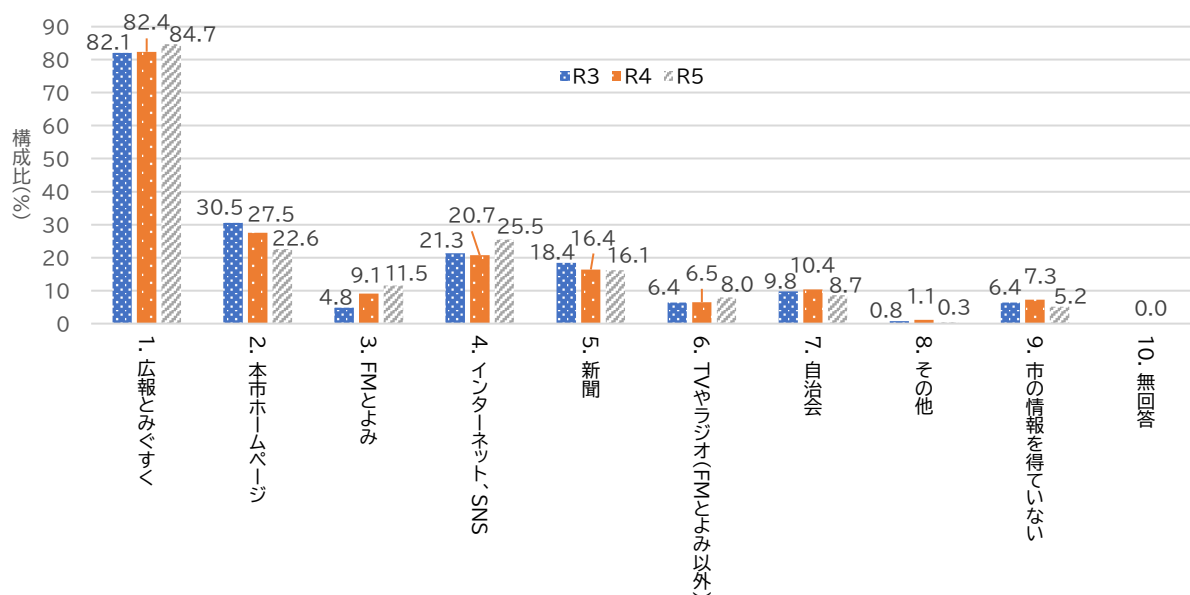
- 市の情報を得る方法として、「広報とみぐすく」が 84.7%と最も高く、次いで、「インターネット、SNS」が 25.5%、「本市ホームページ」が 22.6%の順となっている。



※回答者数(601人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 直近3年間においては、「広報とみぐすく」が最も高いポイントとなっており、他の項目との差が大きい状況が続いている。



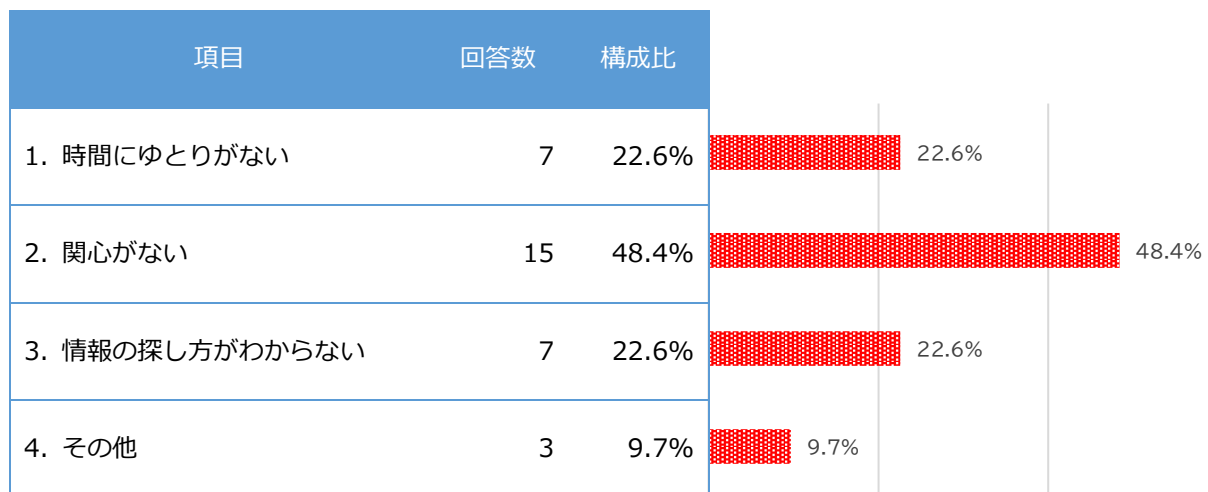
《「8.その他」の主な内容》

- ・ マンションの掲示板
- ・ 市の公式 LINE



問 22-2 前問で「9. 市の情報を得ていない」と答えた方に伺います。その理由は何ですか。
 (あてはまるもの全てに○)

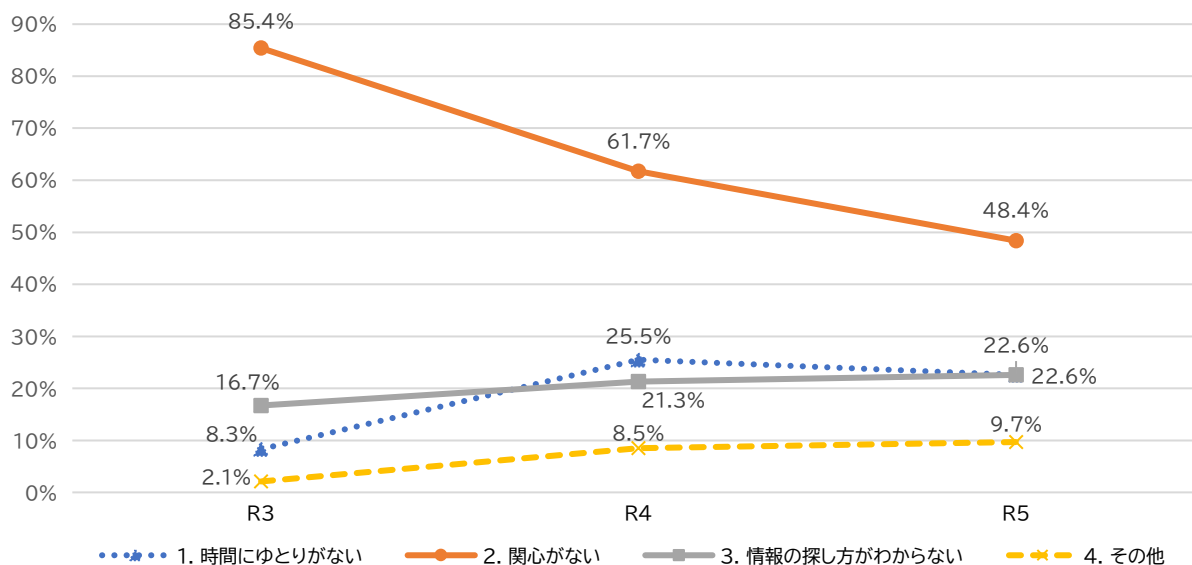
● 市の情報を得ていないと答えた方のうち、その理由として、「関心がない」が48.4%と最も高く、次いで、「時間にゆとりがない」「情報の探し方がわからない」が22.6%となっている。



※回答者数(31人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

● 直近3年間において、「関心がない」が最も高いポイントを継続しているが、減少が続いている。
 (R3:85.4%→R4:61.7%→R5:48.4%)



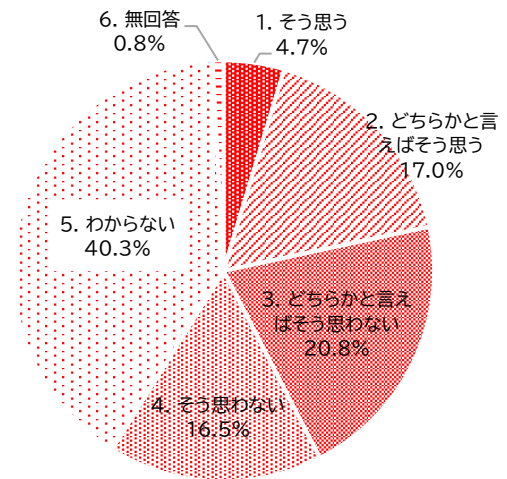
《「4.その他」の主な内容》

- ・ フィードバックがないから。
- ・ 最近まで県外にいた。

問 23 あなたは、市民が市政に対して意見や要望を言える機会が設けられていると思いますか。(〇は1つ)

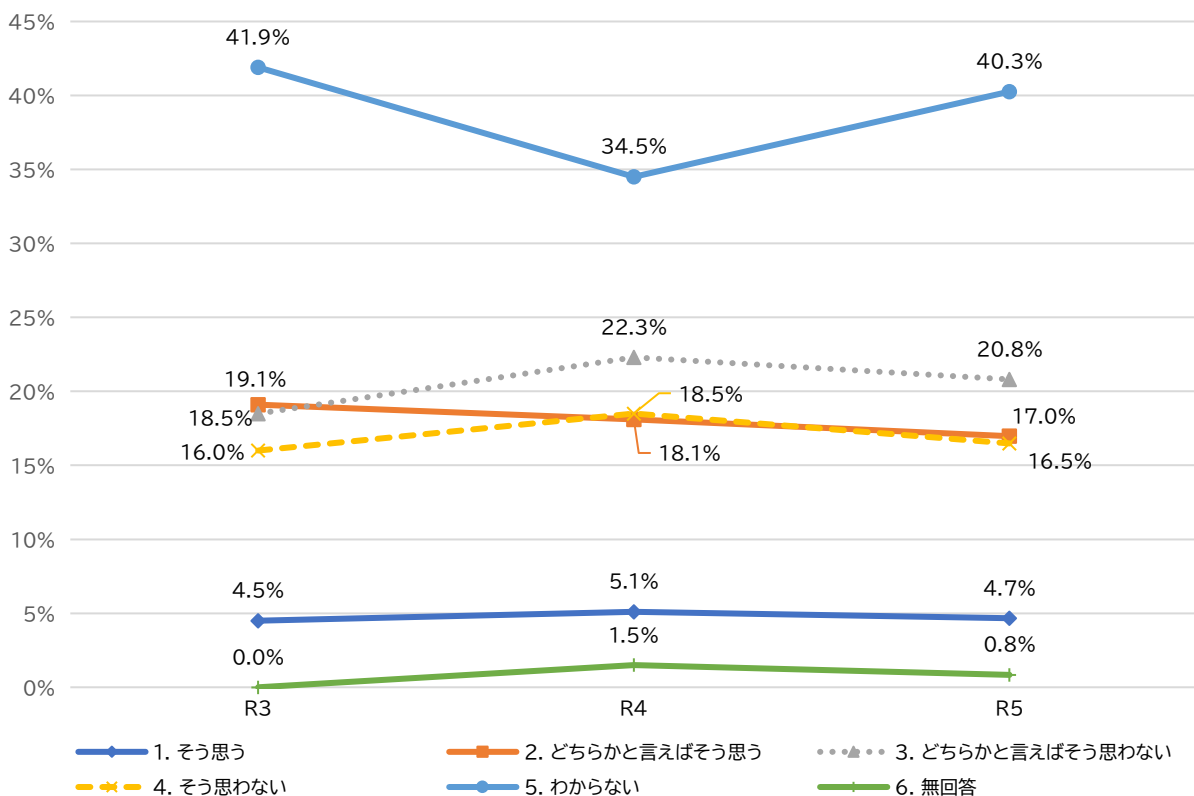
● 市政に対して意見できる機会があると思う割合が、全体の 21.7%（「そう思う」4.7%、「どちらかと言えばそう思う」17.0%）なのに対して、意見できる機会がないと思う割合が、全体の 37.3%（「どちらかと言えばそう思わない」20.8%、「そう思わない」16.5%）となっている。

項目	回答数	構成比
1. そう思う	28	4.7%
2. どちらかと言えばそう思う	102	17.0%
3. どちらかと言えばそう思わない	125	20.8%
4. そう思わない	99	16.5%
5. わからない	242	40.3%
6. 無回答	5	0.8%
計	601	100%



《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

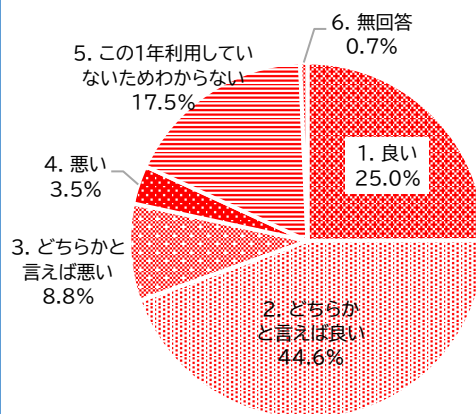
● 直近では、「わからない」を除くすべての項目が減少している。



問24 あなたは、この1年間で市役所職員の窓口や電話での対応(服装、挨拶、応対等)は、どのように感じていますか。(〇は1つ)

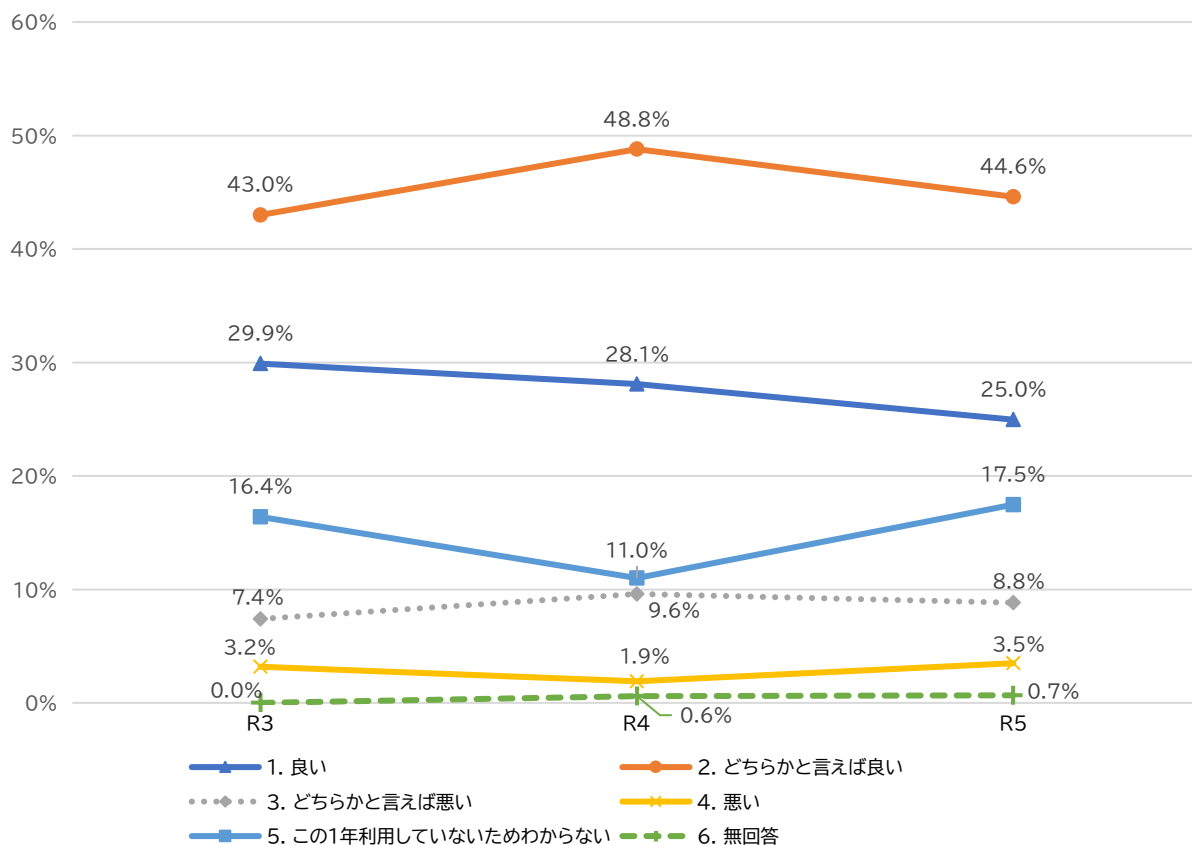
● 市職員の対応について、「どちらかと言えば良い」が44.6%と最も高く、次いで「良い」が25.0%となっている。

項目	回答数	構成比
1. 良い	150	25.0%
2. どちらかと言えば良い	268	44.6%
3. どちらかと言えば悪い	53	8.8%
4. 悪い	21	3.5%
5. この1年利用していないためわからない	105	17.5%
6. 無回答	4	0.7%
計	601	100%



《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

● 令和4年度と比較して、「よい」が3.1ポイント、「どちらかと言えば良い」が4.2ポイント減少し、「悪い」が微増している。



問 24-2 前問で「3. どちらかと言えば悪い」、「4. 悪い」と答えた方に伺います。どのような点で悪い印象を感じましたか。(あてはまるもの全てに○)

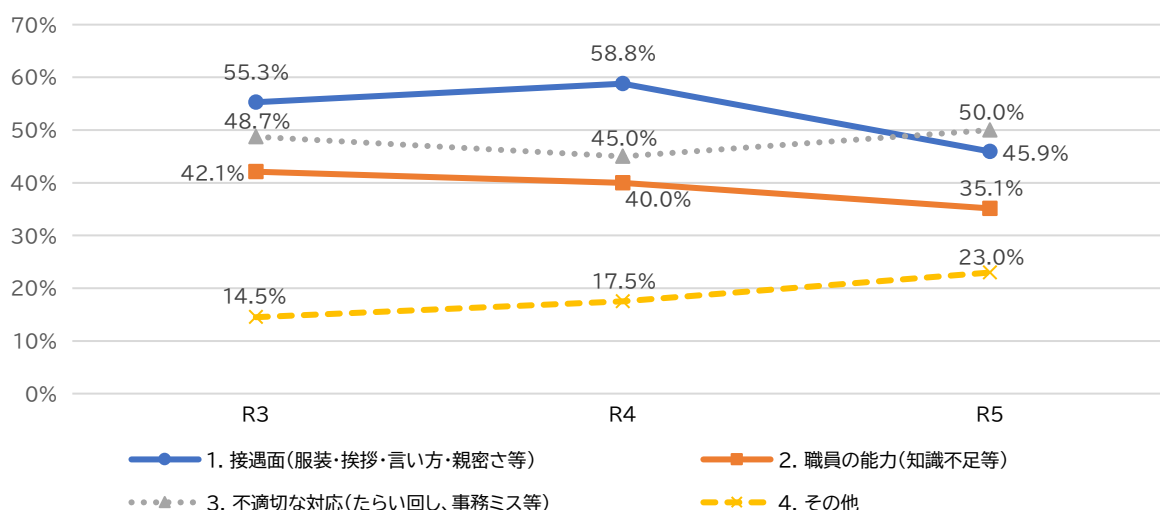
- 市職員の対応に悪い印象を感じた方のうち、その理由として、「不適切な対応(たらい回し、事務ミス等)」が50.0%と最も高く、次いで、「接遇面(服装・挨拶・言い方・親密さ等)」が45.9%となっている。

項目	回答数	構成比
1. 接遇面(服装・挨拶・言い方・親密さ等)	34	45.9%
2. 職員の能力(知識不足等)	26	35.1%
3. 不適切な対応(たらい回し、事務ミス等)	37	50.0%
4. その他	17	23.0%

※回答者数(74人)を母数として構成比を算出したため、合計が100%を超過している。

《経年比較(令和3年度～令和5年度)》

- 令和4年度と比較して、「接遇面(服装・挨拶・言い方・親密さ等)」は減少しているが、「不適切な対応(たらい回し、事務ミス等)」が増加している。



《「4.その他」の主な内容》

- ・ 爪が長い、派手 ・ コロナ対応のずさんさ ・ 相談事項の件で、折り返しの電話が何ヶ月もかかってこない。
- ・ 改善してほしい点を電話にて伝え、「上司に確認する」との返答だったが後日実際に窓口に行くと「聞いていない」とのこと。上司の方にはすぐ改善・対応していただきました。電話口での対応は非常に失礼かつ連携を取れておらず、組織として成り立っていないと感じた。
- ・ 法律ではOK、他市町村(県外もOK)豊見城市窓口だけNG。
- ・ 子供が抱っこ紐で寝ていたので大きな声を出したくなかったのですが、窓口に行ったとき、チラチラとこちらを見る職員はいたが手をあげても誰も目を合わせてくれず、仕方なく大きな声で呼んだらやっと来ました。残念でした。
- ・ 確定申告で医療費控除の対象が国税庁のHPと認識の違いがあると思われる。
- ・ 住宅の敷地境界の除草作業について、草が生えた都度ごとに、こちらから相談に来るようにいわれた。



10. まちづくりに対する満足度、重要度について

問 25 次の(1)～(5)の分野ごとに、まちづくりに対する現在の取組状況に関する満足度と今後取り組むべき重要度についてご意見をお聞きます。(「満足度」、「重要度」について、1～5の中から○を1つ)

【満足度】 満足=5 やや満足=4 普通=3 やや不満=2 不満=1

【重要度】 重要=5 やや重要=4 普通=3 あまり重要でない=2 重要でない=1

□ 政策分野別集計

- ・ 第5次豊見城市総合計画に掲げる5つの政策に基づき(1)～(5)の分野を設定した。
- ・ 各施策における平均点を「評価点」とする。
- ・ 無回答は集計除外としたため、施策ごとの回答数は一致しない。

(1)子どもが活きる夢と希望にみちたまち

施策	満足度					(平均点)	重要度					(平均点)
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満		重要	やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない	
	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1	
1-1 子どもの未来支援	24	100	357	61	28	3.05	319	113	131	2	2	4.31
	4.2%	17.5%	62.6%	10.7%	4.9%		56.3%	19.9%	23.1%	0.4%	0.4%	
1-2 親と子の健康づくりの推進	24	74	430	30	13	3.12	218	124	215	6	7	3.95
	4.2%	13.0%	75.3%	5.3%	2.3%		38.2%	21.8%	37.7%	1.1%	1.2%	
1-3 義務教育の充実	30	91	376	58	19	3.10	265	113	186	3	2	4.12
	5.2%	15.9%	65.5%	10.1%	3.3%		46.6%	19.9%	32.7%	0.5%	0.4%	
1-4 地域文化の振興	22	53	458	33	5	3.09	85	136	305	27	11	3.46
	3.9%	9.3%	80.2%	5.8%	0.9%		15.1%	24.1%	54.1%	4.8%	2.0%	
1-5 生涯学習社会の確立	19	56	444	46	9	3.05	111	156	268	24	8	3.60
	3.3%	9.8%	77.9%	8.1%	1.6%		19.6%	27.5%	47.3%	4.2%	1.4%	
1-6 県外・国際交流の活性化	17	43	457	38	17	3.01	84	121	297	53	13	3.37
	3.0%	7.5%	80.2%	6.7%	3.0%		14.8%	21.3%	52.3%	9.3%	2.3%	
1-7 スポーツ・レクリエーションの振興	23	81	428	37	6	3.14	86	150	285	34	14	3.46
	4.0%	14.2%	75.1%	6.5%	1.1%		15.1%	26.4%	50.1%	6.0%	2.5%	

- 満足度については、各施策の評価点が 3.00 ポイントを超えており、「スポーツ・レクリエーションの振興」が 3.14 ポイントと最も高く、次いで「親と子の健康づくりの推進」が 3.12 ポイントとなっている。
- 重要度については、評価点が 4.00 ポイントを超える施策が 2 つ(「子どもの未来支援(4.31)」「義務教育の充実(4.12)」)ある。
- 重要度において、最もポイントの高い「子どもの未来支援」については、全 34 施策中においても第 1 位のポイントとなっていることから、本施策における市民ニーズの高さが伺える。

(2)健康で明るくたがいに助け合うあたたかいまち

施策	満足度						(平均点)	重要度					(平均点)
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要		やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない		
	5	4	3	2	1	5		4	3	2	1		
2-1 健康づくりの推進	回答数	37	78	417	38	8	3.17	167	163	228	9	3	3.85
	構成比	6.4%	13.5%	72.1%	6.6%	1.4%		29.3%	28.6%	40.0%	1.6%	0.5%	
2-2 地域福祉のまちづくり	回答数	23	51	444	40	15	3.05	164	153	233	16	3	3.81
	構成比	4.0%	8.9%	77.5%	7.0%	2.6%		28.8%	26.9%	40.9%	2.8%	0.5%	
2-3 男女共同参画社会の形成	回答数	17	39	480	32	7	3.05	115	141	287	21	3	3.61
	構成比	3.0%	6.8%	83.5%	5.6%	1.2%		20.3%	24.9%	50.6%	3.7%	0.5%	
2-4 平和行政の推進	回答数	28	46	459	31	10	3.09	124	120	280	32	11	3.55
	構成比	4.9%	8.0%	80.0%	5.4%	1.7%		21.9%	21.2%	49.4%	5.6%	1.9%	
2-5 高齢者福祉の充実	回答数	31	77	418	36	14	3.13	197	166	190	12	6	3.94
	構成比	5.4%	13.4%	72.6%	6.3%	2.4%		34.5%	29.1%	33.3%	2.1%	1.1%	
2-6 障害者福祉の充実	回答数	26	60	444	31	13	3.10	203	161	197	4	4	3.98
	構成比	4.5%	10.5%	77.4%	5.4%	2.3%		35.7%	28.3%	34.6%	0.7%	0.7%	

- 満足度については、各施策の評価点が 3.00 ポイントを超えており、「健康づくりの推進」が 3.17 ポイントと最も高く、次いで「高齢者福祉の充実」が 3.13 ポイントとなっている。
- 重要度については、「障害者福祉の充実」が 3.98 ポイントで最も高く、次いで「高齢者福祉の充実」が 3.94 ポイントとなっている。

(3)活気ある豊かなまち

施策	満足度						(平均点)	重要度					(平均点)
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要		やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない		
	5	4	3	2	1	5		4	3	2	1		
3-1 農業の振興	回答数	20	78	432	35	11	3.11	159	163	239	7	2	3.82
	構成比	3.5%	13.5%	75.0%	6.1%	1.9%		27.9%	28.6%	41.9%	1.2%	0.4%	
3-2 水産業の振興	回答数	14	50	467	30	12	3.04	112	142	282	23	8	3.58
	構成比	2.4%	8.7%	81.5%	5.2%	2.1%		19.8%	25.0%	49.7%	4.1%	1.4%	
3-3 商工業の振興	回答数	33	62	428	35	16	3.11	153	165	240	8	3	3.80
	構成比	5.7%	10.8%	74.6%	6.1%	2.8%		26.9%	29.0%	42.2%	1.4%	0.5%	
3-4 企業立地の支援	回答数	21	64	432	41	14	3.06	139	149	262	7	7	3.72
	構成比	3.7%	11.2%	75.5%	7.2%	2.4%		24.6%	26.4%	46.5%	1.2%	1.2%	
3-5 観光・リゾート産業の振興	回答数	23	84	418	35	12	3.12	122	159	250	24	12	3.63
	構成比	4.0%	14.7%	73.1%	6.1%	2.1%		21.5%	28.0%	44.1%	4.2%	2.1%	
3-6 雇用の安定	回答数	16	53	425	55	21	2.98	209	160	187	7	3	4.00
	構成比	2.8%	9.3%	74.6%	9.6%	3.7%		36.9%	28.3%	33.0%	1.2%	0.5%	

- 満足度については、「観光・リゾート産業の振興」が 3.12 ポイントと最も高く、次いで「農業の振興」及び「商工業の振興」が 3.11 ポイントとなっている。
- 満足度において、「雇用の安定」が 2.98 ポイントと唯一 3.00 ポイントを下回る結果となった。
- 重要度については、「雇用の安定」が 4.00 ポイントと最も高く、次いで「農業の振興」が 3.82 ポイント、「商工業の振興」が 3.80 ポイントの順となっている。



(4)環境に優しい住みよいまち

施策	満足度						(平均点) 評価点	重要度					(平均点) 評価点
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要		やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない		
	5	4	3	2	1	5		4	3	2	1		
4-1 環境の保全	回答数	30	92	403	39	16	3.14	173	160	226	10	3	3.86
	構成比	5.2%	15.9%	69.5%	6.7%	2.8%		30.2%	28.0%	39.5%	1.7%	0.5%	
4-2 生活衛生の充実	回答数	34	87	382	63	17	3.10	227	163	179	3	3	4.06
	構成比	5.8%	14.9%	65.5%	10.8%	2.9%		39.5%	28.3%	31.1%	0.5%	0.5%	
4-3 計画的な土地利用の推進	回答数	16	51	419	64	28	2.94	159	145	260	8	1	3.79
	構成比	2.8%	8.8%	72.5%	11.1%	4.8%		27.7%	25.3%	45.4%	1.4%	0.2%	
4-4 調和のとれた市街地・まちなみの整備	回答数	29	68	392	65	27	3.01	167	148	248	5	4	3.82
	構成比	5.0%	11.7%	67.5%	11.2%	4.6%		29.2%	25.9%	43.4%	0.9%	0.7%	
4-5 道路網等の整備	回答数	25	67	296	119	77	2.73	257	157	153	6	3	4.14
	構成比	4.3%	11.5%	50.7%	20.4%	13.2%		44.6%	27.3%	26.6%	1.0%	0.5%	
4-6 公共交通サービスの維持・向上	回答数	23	38	326	140	58	2.71	197	180	183	8	3	3.98
	構成比	3.9%	6.5%	55.7%	23.9%	9.9%		34.5%	31.5%	32.0%	1.4%	0.5%	
4-7 公園・緑地の整備	回答数	29	93	331	101	37	2.96	174	180	209	10	5	3.88
	構成比	4.9%	15.7%	56.0%	17.1%	6.3%		30.1%	31.1%	36.2%	1.7%	0.9%	
4-8 水の安定供給	回答数	133	112	328	13	3	3.61	288	113	173	1	0	4.20
	構成比	22.6%	19.0%	55.7%	2.2%	0.5%		50.1%	19.7%	30.1%	0.2%	0.0%	
4-9 下水道の整備・汚水処理の推進	回答数	71	89	357	52	22	3.23	260	135	180	3	0	4.13
	構成比	12.0%	15.1%	60.4%	8.8%	3.7%		45.0%	23.4%	31.1%	0.5%	0.0%	

- 満足度については、各施策における評価点のばらつきが大きく、最も高い「水の安定供給」が 3.61 ポイントなのに対して、最も低い「公共交通サービスの維持・向上」が 2.71 ポイントと 1.00 ポイント近くも開きが生じており、同じ分野においても満足度に差がある。
- 最も満足度の高い「水の安定供給」については、全 34 施策中においても第 1 位のポイントであり、最も満足度の低い「公共交通サービスの維持・向上」については、全 34 施策中においても最下位のポイントとなっていることから、その差の大きさが伺える。
- 重要度については、評価点が 4.00 ポイントを超える施策が 4 つ(「水の安定供給(4.20)」「道路網等の整備(4.14)」「下水道の整備・汚水処理の推進(4.13)」「生活衛生の充実(4.06)」)ある。

(5)安全安心な協働のまち

施策	満足度						(平均点) 評価点	重要度					(平均点) 評価点
	満足	やや満足	普通	やや不満	不満	重要		やや重要	普通	あまり重要でない	重要でない		
	5	4	3	2	1	5		4	3	2	1		
5-1 コミュニティの振興	回答数	14	61	459	35	15	3.04	112	131	300	23	5	3.56
	構成比	2.4%	10.4%	78.6%	6.0%	2.6%		19.6%	22.9%	52.5%	4.0%	0.9%	
5-2 防災・危機管理の強化	回答数	24	54	435	49	22	3.02	253	132	190	2	0	4.10
	構成比	4.1%	9.2%	74.5%	8.4%	3.8%		43.8%	22.9%	32.9%	0.3%	0.0%	
5-3 防犯・交通安全の推進	回答数	29	62	432	49	12	3.08	248	137	189	2	0	4.10
	構成比	5.0%	10.6%	74.0%	8.4%	2.1%		43.1%	23.8%	32.8%	0.3%	0.0%	
5-4 消防と救命救急体制の充実	回答数	43	97	417	21	6	3.26	231	156	186	3	0	4.07
	構成比	7.4%	16.6%	71.4%	3.6%	1.0%		40.1%	27.1%	32.3%	0.5%	0.0%	
5-5 広報・広聴の推進	回答数	35	85	422	36	11	3.16	122	134	304	14	3	3.62
	構成比	5.9%	14.4%	71.6%	6.1%	1.9%		21.1%	23.2%	52.7%	2.4%	0.5%	
5-6 行政運営・行財政改革の推進	回答数	18	59	435	49	23	3.00	154	148	260	11	1	3.77
	構成比	3.1%	10.1%	74.5%	8.4%	3.9%		26.8%	25.8%	45.3%	1.9%	0.2%	

- 満足度については、各施策の評価点が 3.00 ポイントを超えており、「消防と救命救急体制の充実」が 3.26 ポイントと最も高く、次いで「広報・広聴の推進」が 3.16 ポイントとなっている。
- 重要度については、評価点が 4.00 ポイントを超える施策が 3 つ(「防災・危機管理の強化(4.10)」「防犯・交通安全の推進(4.10)」「消防と救命救急体制の充実(4.07)」)ある。

□ 満足度・重要度評価点 順位表（全34施策）

- 全体的な評価として、満足度評価点の平均値は 3.07 ポイント、重要度評価点の平均値は 3.84 ポイントとなっており、満足度は「普通」を少し上回り、重要度は「やや重要」を少し下回る結果となった。
- 満足度については、「水の安定供給」が 3.61 ポイントと最も高く、「公共交通サービスの維持・向上」が 2.71 ポイントと最も低くなっている。
- 重要度については、「子どもの未来支援」が 4.31 ポイントと最も高く、「県外・国際交流の活性化」が 3.37 ポイントと最も低くなっている。

【満足度】

【重要度】

順位	施策番号	施策名	R4 満足度 評価点	R5 満足度 評価点	順位	施策番号	施策名	R4 重要度 評価点	R5 重要度 評価点
1	4-8	水の安定供給	3.56	↗ 3.61	1	1-1	子どもの未来支援	4.45	↘ 4.31
2	5-4	消防と救命救急体制の充実	3.23	↗ 3.26	2	4-8	水の安定供給	4.18	↗ 4.20
3	4-9	下水道の整備・汚水処理の推進	3.18	↗ 3.23	3	4-5	道路網等の整備	4.11	↗ 4.14
4	2-1	健康づくりの推進	3.15	↗ 3.17	4	4-9	下水道の整備・汚水処理の推進	4.17	↘ 4.13
5	5-5	広報・広聴の推進	3.20	↘ 3.16	5	1-3	義務教育の充実	4.27	↘ 4.12
6	4-1	環境の保全	3.17	↘ 3.14	6	5-2	防災・危機管理の強化	4.07	↗ 4.10
7	1-7	スポーツ・レクリエーションの振興	3.08	↗ 3.14	7	5-3	防犯・交通安全の推進	4.10	→ 4.10
8	2-5	高齢者福祉の充実	3.06	↗ 3.13	8	5-4	消防と救命救急体制の充実	4.07	→ 4.07
9	3-5	観光・リゾート産業の振興	3.06	↗ 3.12	9	4-2	生活衛生の充実	4.00	↗ 4.06
10	1-2	親と子の健康づくりの推進	3.10	↗ 3.12	10	3-6	雇用の安定	4.00	→ 4.00
11	3-3	商工業の振興	3.09	↗ 3.11	11	4-6	公共交通サービスの維持・向上	3.42	↗ 3.98
12	3-1	農業の振興	3.09	↗ 3.11	12	2-6	障害者福祉の充実	4.04	↘ 3.98
13	4-2	生活衛生の充実	3.09	↗ 3.10	13	1-2	親と子の健康づくりの推進	4.11	↘ 3.95
14	1-3	義務教育の充実	3.06	↗ 3.10	14	2-5	高齢者福祉の充実	4.02	↘ 3.94
15	2-6	障害者福祉の充実	3.03	↗ 3.10	15	4-7	公園・緑地の整備	3.40	↗ 3.88
16	1-4	地域文化の振興	3.06	↗ 3.09	16	4-1	環境の保全	3.81	↗ 3.86
17	2-4	平和行政の推進	3.05	↗ 3.09	17	2-1	健康づくりの推進	3.96	↘ 3.85
18	5-3	防犯・交通安全の推進	3.14	↘ 3.08	平均値			3.85	↘ 3.84
平均値			3.06	↗ 3.07	18	3-1	農業の振興	3.92	↘ 3.82
19	3-4	企業立地の支援	3.06	→ 3.06	19	4-4	調和のとれた市街地・まちなみの整備	3.81	↘ 3.82
20	1-1	子どもの未来支援	3.03	↗ 3.05	20	2-2	地域福祉のまちづくり	3.90	↘ 3.81
21	1-5	生涯学習社会の確立	3.04	↗ 3.05	21	3-3	商工業の振興	3.84	↘ 3.80
22	2-2	地域福祉のまちづくり	3.02	↗ 3.05	22	4-3	計画的な土地利用の推進	3.78	↗ 3.79
23	2-3	男女共同参画社会の形成	3.03	↗ 3.05	23	5-6	行政運営・行財政改革の推進	3.80	↘ 3.77
24	3-2	水産業の振興	3.00	↗ 3.04	24	3-4	企業立地の支援	3.73	↘ 3.72
25	5-1	コミュニティの振興	3.06	↘ 3.04	25	3-5	観光・リゾート産業の振興	3.72	↘ 3.63
26	5-2	防災・危機管理の強化	3.07	↘ 3.02	26	5-5	広報・広聴の推進	3.61	↗ 3.62
27	4-4	調和のとれた市街地・まちなみの整備	3.01	→ 3.01	27	2-3	男女共同参画社会の形成	3.60	↗ 3.61
28	1-6	県外・国際交流の活性化	3.01	→ 3.01	28	1-5	生涯学習社会の確立	3.75	↘ 3.60
29	5-6	行政運営・行財政改革の推進	3.05	↘ 3.00	29	3-2	水産業の振興	3.67	↘ 3.58
30	3-6	雇用の安定	2.94	↗ 2.98	30	5-1	コミュニティの振興	3.59	↘ 3.56
31	4-7	公園・緑地の整備	2.87	↗ 2.96	31	2-4	平和行政の推進	3.57	↘ 3.55
32	4-3	計画的な土地利用の推進	2.92	↗ 2.94	32	1-7	スポーツ・レクリエーションの振興	3.61	↘ 3.46
33	4-5	道路網等の整備	2.77	↘ 2.73	33	1-4	地域文化の振興	3.49	↘ 3.46
34	4-6	公共交通サービスの維持・向上	2.65	↗ 2.71	34	1-6	県外・国際交流の活性化	3.42	↘ 3.37



□ 満足度・重要度のギャップ

- 満足度が低く、かつ、重要度が高いと評価された(満足度と重要度の隔たりが大きい)施策については、「道路網等の整備」が▲1.41 ポイントと最もその差が大きく、次いで「公共交通サービスの維持・向上」が▲1.27 ポイント、「子どもの未来支援」が▲1.26 ポイントと続いている。

順位	施策番号	施策名	満足度評価点	重要度評価点	満足度－重要度
1	4-5	道路網等の整備	2.73	4.14	▲ 1.41
2	4-6	公共交通サービスの維持・向上	2.71	3.98	▲ 1.27
3	1-1	子どもの未来支援	3.05	4.31	▲ 1.26
4	5-2	防災・危機管理の強化	3.02	4.10	▲ 1.08
5	3-6	雇用の安定	2.98	4.00	▲ 1.02
6	1-3	義務教育の充実	3.10	4.12	▲ 1.02
7	5-3	防犯・交通安全の推進	3.08	4.10	▲ 1.02
8	4-2	生活衛生の充実	3.10	4.06	▲ 0.96
9	4-7	公園・緑地の整備	2.96	3.88	▲ 0.92
10	4-9	下水道の整備・汚水処理の推進	3.23	4.13	▲ 0.90
11	2-6	障害者福祉の充実	3.10	3.98	▲ 0.88
12	4-3	計画的な土地利用の推進	2.94	3.79	▲ 0.85
13	1-2	親と子の健康づくりの推進	3.12	3.95	▲ 0.83
14	5-4	消防と救命救急体制の充実	3.26	4.07	▲ 0.81
15	4-4	調和のとれた市街地・まちなみの整備	3.01	3.82	▲ 0.81
16	2-5	高齢者福祉の充実	3.13	3.94	▲ 0.81
17	5-6	行政運営・行財政改革の推進	3.00	3.77	▲ 0.77
18	2-2	地域福祉のまちづくり	3.05	3.81	▲ 0.76
19	4-1	環境の保全	3.14	3.86	▲ 0.72
20	3-1	農業の振興	3.11	3.82	▲ 0.71
21	3-3	商工業の振興	3.11	3.80	▲ 0.69
22	2-1	健康づくりの推進	3.17	3.85	▲ 0.68
23	3-4	企業立地の支援	3.06	3.72	▲ 0.66
24	4-8	水の安定供給	3.61	4.20	▲ 0.59
25	2-3	男女共同参画社会の形成	3.05	3.61	▲ 0.56
26	1-5	生涯学習社会の確立	3.05	3.60	▲ 0.55
27	3-2	水産業の振興	3.04	3.58	▲ 0.54
28	5-1	コミュニティの振興	3.04	3.56	▲ 0.52
29	3-5	観光・リゾート産業の振興	3.12	3.63	▲ 0.51
30	2-4	平和行政の推進	3.09	3.55	▲ 0.46
31	5-5	広報・広聴の推進	3.16	3.62	▲ 0.46
32	1-4	地域文化の振興	3.09	3.46	▲ 0.37
33	1-6	県外・国際交流の活性化	3.01	3.37	▲ 0.36
34	1-7	スポーツ・レクリエーションの振興	3.14	3.46	▲ 0.32

□ 満足度・重要度の相対分布

満足度を縦軸、重要度を横軸にとり、各施策の満足度・重要度の座標点を基に分布図を作成し、平均値を基準としたクロス分析を行った。

平均値の基準線を基に満足度・重要度の高低により各施策を4つの区分に分け、総合評価(今後の施策の取組方針)として整理した。

総合評価(区分別の取組方針)

「A」:重点改善項目(満足度【低】・重要度【高】)

市民の満足度を高めるため、重点的に改善を要する施策

「B」:重点維持項目(満足度【高】・重要度【高】)

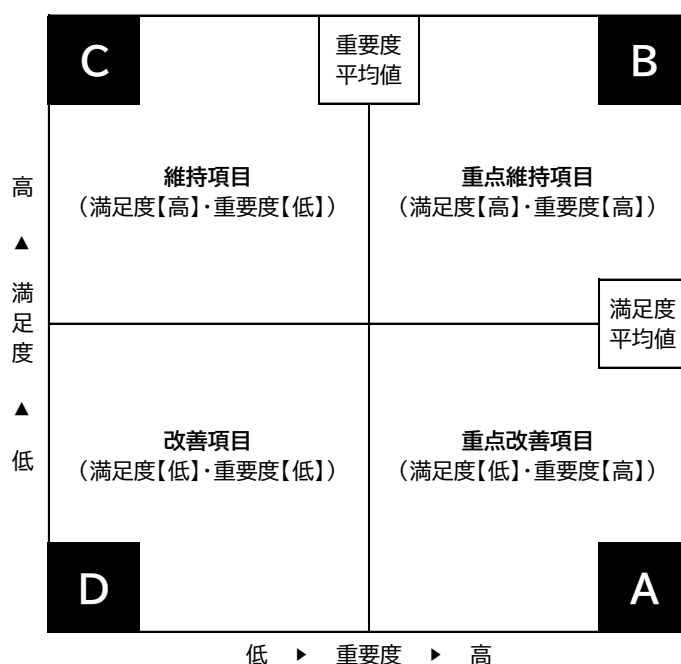
市民の満足度を維持、または、さらに高めるため、重点的に現状を維持しながら、より効率的な事業執行を要する施策

「C」:維持項目(満足度【高】・重要度【低】)

市民の満足度を維持するため、社会情勢の変化に注視しながら、現状を維持し続けることを要する施策

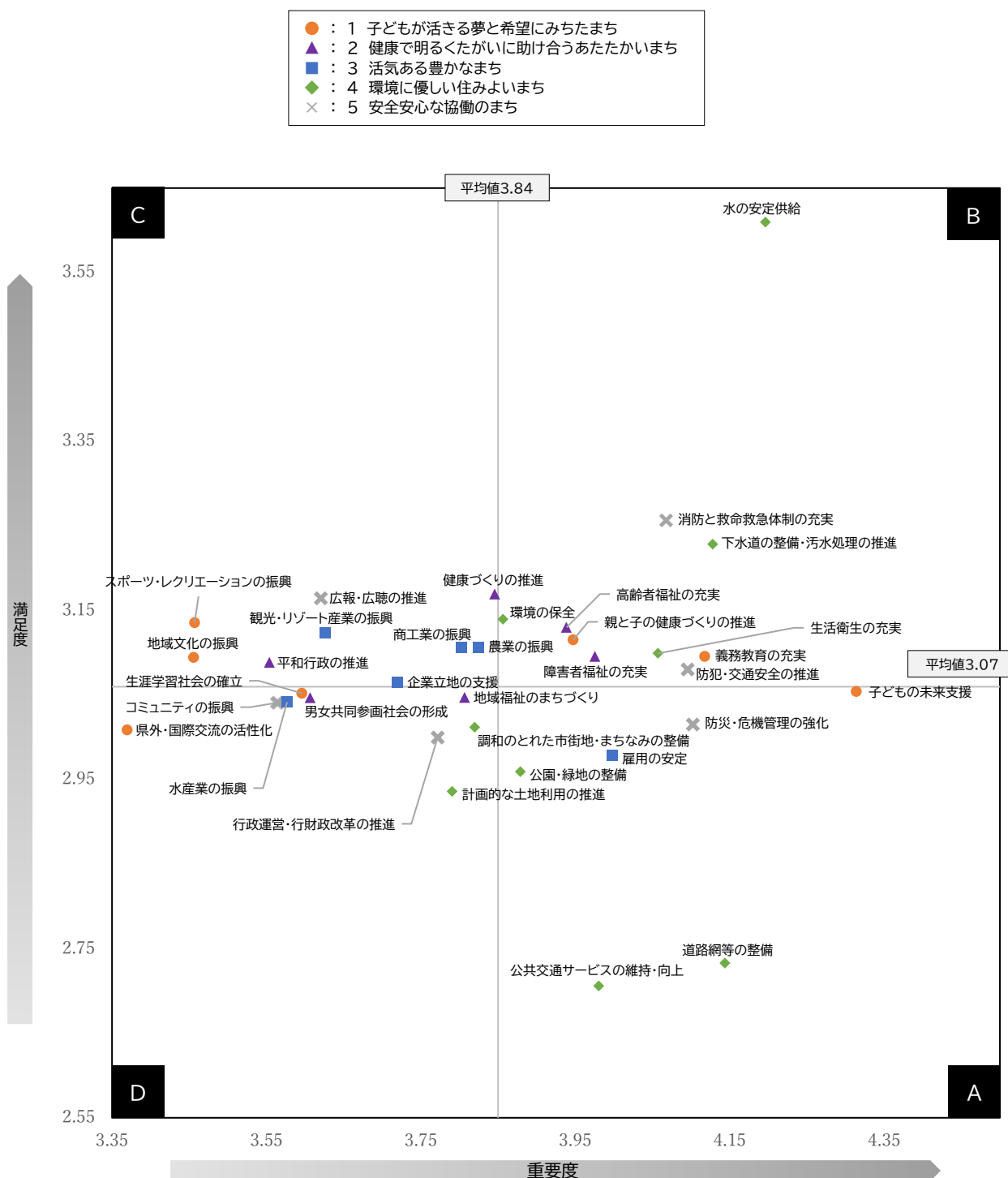
「D」:改善項目(満足度【低】・重要度【低】)

社会情勢の変化に注視しながら、施策の重要性を認知してもらうような取組を推進するとともに、施策の見直しを含む事業改善を要する施策



- 「A(重点改善項目)」のエリアにおいては、満足度・重要度のギャップが大きかった「道路網等の整備」や「公共交通サービスの維持・工場」、「子どもの未来支援」等の施策が位置しており、改善に向けた今後の取組が強く求められる。
- 「B(重点維持項目)」のエリアにおいては、「4 環境に優しい住みよいまち」の施策が多く位置しており、引き続き、現状の取組を維持、または、向上していくことが求められる。
- 「D(改善項目)」のエリアにおいては、「計画的な土地利用の推進」や「男女共同参画社会の形成」、「コミュニティの振興」といった施策が位置しており、社会情勢の変化や市民ニーズを踏まえながら、今後の取組の改善が求められる。

< 第5次豊見城市総合計画 政策分野 >



令和5年度
豊見城市 市民意識調査 報告書

豊見城市 総務企画部 企画調整課
〒901-0292 沖縄県豊見城市宜保一丁目1番地1
TEL : 098-850-0364
Mail : kikaku-g@city.tomigusuku.lg.jp
